

ユニセフ活動の手引き



〈ブルンジ〉洪水

すべての子どもに、
を。

〈アラスカ〉とける海水



〈フィリピン〉台風

〈シリア〉豪雨による浸水/紛争



わたしたちの持続可能な未来のために



第67回 ユニセフ学校募金にご協力ください

子どもと先生の広場

検索



授業で使える!

2022年度
ユニセフ学校募金 春季資料
ユニセフDVD学習教材

- 1 すべての子どもに、資金で持続可能な水と衛生を〜発展途上国への対応〜 (3分25秒)
- 2 学校への贈答、でも夢を追い続けるアフリカ (イタリヤ) (1分57秒)
- 3 被災地から回復し、元気にしたエリツグ (ブラジル) (2分29秒)
- 4 シリア紛争10年〜シリアを支援するアフリカの国々、その先〜 (4分33秒)
- 5 パーチャル社会科見学〜ユニセフの支援国を遠くから〜 (2分25秒)
- 6 unicef x Fridays For Future〜気候変動に動くユースたち〜 (7分41秒)
- 7 あなたはどんな未来をえがきますか?〜SDGsが生まれた背景とこれから〜 (6分00秒)
- 8 ユニセフと地球のともだち (1分26秒)
- 9 絵本「ユニセフとえがきのDみづ」読み聞かせ (10分56秒)
- 10 100円の旗 (1分56秒)



unicef
公益財団法人 日本ユニセフ協会
Presented in Japan

ユニセフ
学習教材 DVD

「あなたはどんな未来をえがきますか?〜SDGsが生まれた背景とこれから〜」の動画を収録!

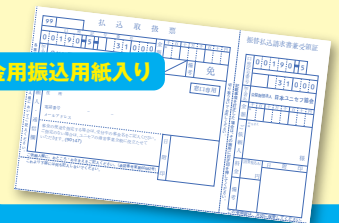
入ってます!

便利な
ツール満載!

各種申込書・依頼書入り

- ユニセフ資料申込書
- ユニセフハウス訪問依頼書
- 街頭募金申請依頼書
- 講師派遣依頼書 等

募金用振込用紙入り



unicef

公益財団法人
日本ユニセフ協会

学校でのSDGs学習に!

ユニセフ活動を通してグローバルな視点で地球の今を知り、未来を考え、自分たちにできることを行動に変えていこう



あなたは に何をいれますか？

すべての子どもに、 を。

— わたしたちの持続可能な未来のために —

気候変動が世界中でさまざまな災害や環境の変化を引き起こしています。気候変動の影響を最も受けるのは、脆弱な地域に暮らす子どもたちです。気候変動は非常に不公平なもので、原因となる温室効果ガス(CO₂)の排出量が多い国よりも少ない国のほうが、深刻な影響を受けています。気候・環境汚染の脆弱性が最も高い33カ国の合計CO₂排出量は、世界の排出量のわずか9%にすぎません。*



いま、世界の子どもたちはどんな課題に直面しているのでしょうか？

そして、わたしたちにできることは何でしょうか？ぜひ、ユニセフと一緒に考えてください。

河川の洪水の危険が高い地域で暮らす 子どもは世界に3億3000万人



東アフリカの国 ブルンジ

©UNICEF/UN0436094/Prinsloo

ブルンジ西部では、1年間で5万人以上が洪水による被害を受け、多くの人が国内避難民になりました。子どもたちの遊び場も、水浸しになってしまいました。洪水によって衛生環境が悪くなることで、さまざまな病気の流行も心配されます。

地球温暖化 — とける海水



アメリカ最北端の州 アラスカ

©UNICEF/UN0445445/Sokhin

先住民民族イヌピートのアマイアさん(11歳)が暮らすアラスカの北極海沿岸では、地球温暖化によって海水が急速にとけ、氷の上で暮らしていた動物たちがすみを追われています。狩りをして暮らすアマイアさんたちの生活やその地域の生態系にも大きな影響がでています。

相次ぐ自然災害



東南アジアの国 フィリピン

©UNICEF/UN0570018/Hogsholt

2021年12月、大型台風がフィリピンを襲い、グウェンドリンちゃん(2歳)の家も壊れてしまいました。ユニセフは、被災者を支援するため、水をきれいにする浄水剤や、災害時に使えるトイレなどの支援物資をすぐに届けました。

紛争と自然災害 — 二重の被害



中東の国 シリア

©UNICEF/UN0405690/Akacha

シリアでは2011年に始まった紛争が今も続いています。2021年1月、紛争から逃れてきた人々が暮らす地域で豪雨が一週間続き、難民キャンプはあっという間に水浸しになってしまいました。紛争前のシリアは豊かで安定した国でしたが、子どもたちは10年以上不安定な暮らしを強いられています。

行動する子どもたち

気候変動の危機に立ち向かうために、多くの子どもや若者が行動を起こしています。



南アジアの国 バングラデシュ

ポリシャルの街に200人の若者たちが集い、「気候変動を止めよう」「地球を守ろう」と声を上げました。

©UNICEF/UN0540748/Mawa



中部アフリカの国 コンゴ民主共和国

11月20日の「世界子どもの日」に、気候変動や環境の悪化から未来の世代を守ろうと呼びかけるイベントが開かれ、子どもたちによる記念の植樹が行われました。

©UNICEF/UN0370154/Wenga



東アジアの国 日本

東京都の立川市立立川第七中学校の生徒たちは、「世界の厳しい環境に暮らす子どもたちのために、自分たちにできることを」と2005年から街頭募金活動を続けています。

©日本ユニセフ協会

持続可能な未来のために、いま、行動しよう！



ユニセフ活動 の手引き

目次

01	はじめてみよう!ユニセフ活動	
	いま、学校での「ユニセフ活動」が果たす役割	1
02	ユニセフについて知りたい	
	ユニセフってなあに	3
	世界の子どもたちは、いま	5
03	「子どもの権利」を実現するってどんなこと?	
	日本でも! 「子どもの権利条約」を生かした学校・園づくり	7
04	募金活動をしたい	
	学校やイベントで募金活動をする	9
	街頭募金活動をする	11
	募金の種類	13
05	活動を終わってから	
	We Support UNICEF賞 	15
06	修学旅行・社会科見学でユニセフハウスを訪問したい	
	ユニセフハウス展示見学 	17
07	講演会や授業への講師派遣を利用したい	
	講師派遣・オンライン授業 	19
08	学校で使える資料・教材・ウェブサイト	
	「知る」「考える」ための方法とツール 	21
	ユニセフ視聴覚ライブラリーと貸出教材	25
09	ユニセフ視聴覚ライブラリーを利用したい	
	全国の貸出機関と協定地域組織	29
10	募金の送金方法を知りたい	
	募金の送金方法 	31

いま、学校での「ユニセフ活動」が果たす役割

「持続可能な社会の創り手」を育てるために

一人一人の児童/生徒が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、**持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが求められる。**

<学習指導要領 前文より>

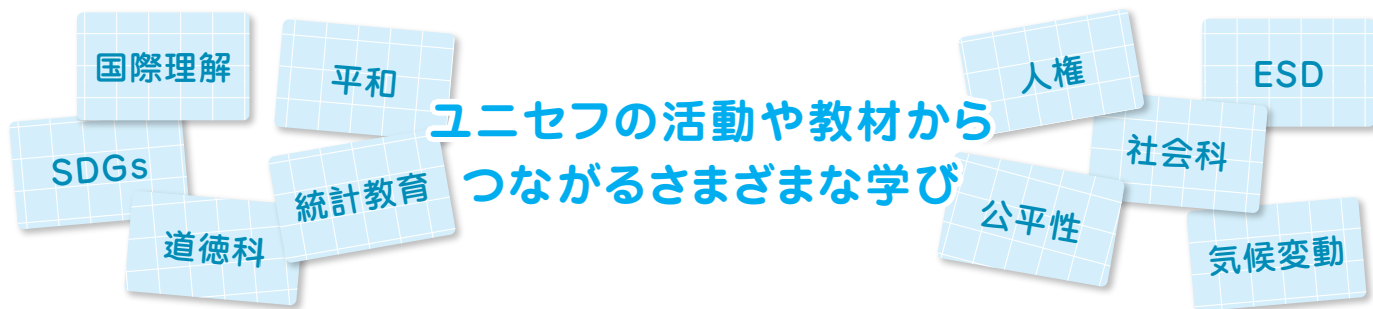
学習指導要領にも「持続可能な社会の創り手の育成」が掲げられ、SDGs(持続可能な開発目標)の学習に取り組まれている学校も多いのではないのでしょうか。

貧困、飢餓、紛争・・・世界には、今この瞬間も、命と健やかな成長を脅かされている子どもたちがたくさんいます。また、気候変動や環境汚染など、人類の持続可能な地球での生活を脅かす課題も深刻さを増しています。そして、そのようななか、2020年に発生した新型コロナウイルスのパンデミックは、日本の子どもたちが、世界が自分たちと繋がっていることを強く意識するきっかけにもなったのではないかと思います。

ユニセフは、世界中すべての子どもたちの命と権利を守るために活動している国連機関です。ユニセフの資料・教材や学校でのユニセフ活動は、子どもたちが世界の課題を「自分事」として捉え、自分たちにできることは何かを考え、行動する機会を提供します。そこにはかならず“主体的で対話的な深い学び”が生まれるはずです。

学校で取り組む「ユニセフ活動」には次のような側面があります

- ✓ 同じ年頃の世界の子どもたちの状況を知り、そこから自分たちが暮らす世界のようにすを知ることができます。
- ✓ 世界の厳しい状況下の子どもたちと比べて、よりチャンスが多い日本での自分たちの暮らしが、どのような人々の努力や仕組みに支えられているのか、気づくことができます。
- ✓ 世界の子どもたちを支援するためにユニセフがどのように活動しているか、また、子どもたちの未来を守る持続可能な世界を築くための取り組みを知することは、社会や世界の困難な課題に立ち向かう方法を知ることにつながります。
- ✓ 自分たちにできることを考え、具体的な行動を企画し、実践することで、実際に変化を起こすために自ら動くことの大切さを学ぶことができます。
- ✓ 子どもたちによる行動が、学校内だけでなく、家族、周辺のコミュニティ、大人たちに影響を与えられることを知ります。



ユニセフ活動の流れ(案)

世界の子どもたちの現状やユニセフの活動について知る・学ぶ

ねらい

毎年取り組んでいる「ユニセフ学校募金活動」の意義を再確認し、募金活動をグローバルな視野をはぐくむ深い学びにつなげる

クラスで話し合い、さらに詳しく調べ、自分たちにできることを考える

募金活動や多くの人に伝える活動を展開する

活動のまとめや協力してくれた人たちへの報告をする

学校からの声

地域の20店舗と一緒に活動を行いました。各店舗のSDGsについての取り組みを生徒が取材してポスターを制作し、来店者にアピールするというのが趣旨でしたが、アクションとしてお店側のご協力もいただき、店頭での募金活動もさせていただきました。学校と地域そして国連機関のつながりを持てたことが大きな収穫でした。事前に神奈川県ユニセフ協会の講師派遣も利用しました。

生徒たちの呼びかけに街の方が温かく耳を傾けてくださり、多くの募金をいただくことができました。生徒たちからは「ユニセフについて聞かれたときにきちんと答えられなかったこともいっぱいあったので、もっときちんと調べておけばよかった」「SDGsについて知らない人もいたので、もっと広めたい」など今後への意欲が感じられました。

横浜女学院中学高等学校(神奈川県)

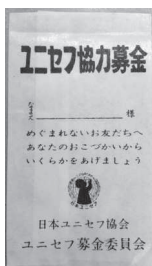
幼稚園からの声

昨年は、幼稚園全体で水の大切さについて考える活動を行いました。夏にユニセフの動画と絵本を通して、世界にはきれいな水を使えない人や遠くまで水を汲みに行っている人がいることを知りました。それぞれの学年ごとに、一日に捨てている水がどのくらいか調べたり、雨水を貯めて畑の水やりをしたり、水の大切さを自分で感じられるように活動し、保護者にも積極的に発信しました。活動を進める中で、ひとりひとりが水を大切にしようとする意識が高まりました。年長児から「自分たちも何かできることをしたい」という声があがり、11月、クリスマスに向けて、募金活動をするようになりました。半年間、水について考えて過ごしてきたので子どもたちの意識も高く、各家庭から思いの詰まった募金が届きました。

中野マリア幼稚園(長野県)

ユニセフ募金のはじまり

第二次世界大戦後、日本でも多くの子どもたちが厳しい暮らしを送っていました。1946年に国際連合の初の会議で創設されたユニセフは、1949年からの15年間、日本の子どもたちにも粉ミルクや衣類の原料となる原綿、医薬品など、当時の金額で65億円もの支援を送ってくれました。その支援へのお礼の手紙に、子どもたちが添えた大切な10円玉、これが日本におけるユニセフ募金の始まりです。子どもたちのあたたかな思いから始まったユニセフ学校募金は、今年で67年目を迎え、今も日本の子どもたちと世界の子どもたちを繋ぎ続けています。



ユニセフってなあに



ユニセフ (UNICEF:国際連合児童基金) は、世界中の子どもたちの命と健やかな成長を守るために活動する国連機関です。

ユニセフは、第二次世界大戦で厳しい状況におかれた子どもたちの緊急救援のために、1946年、第一回国連総会で創設されました。現在、ユニセフは、「子どもの権利条約 (児童の権利に関する条約)」で定められている子どもたちの権利を実現するために、世界約190の国と地域で活動しています。

ユニセフの主な活動

ユニセフ活動分野別の支出割合 (2020年)

(割合は四捨五入しているため、100%にならない場合があります。)



公平な機会 (社会へのインクルージョン)

すべての子どもが、人生において公平な機会を得られるように

紛争、危機、気候関連の災害、障がいの有無やジェンダーによる差別により、子どもたちの可能性が奪われることがないよう、誰もが受け入れられる社会をめざした政策提言や子どもたちへの支援など。



環境 (水と衛生)

すべての子どもが、安全で清潔な環境で暮らせるように

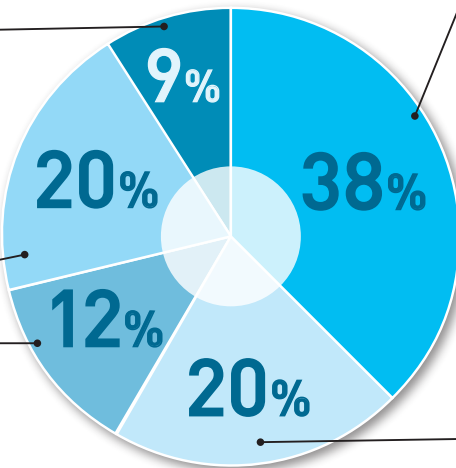
子どもの生活環境を守るための、安全な水の確保、トイレ、手洗いなどの衛生習慣を広めること、災害リスクの軽減、平和構築、都市化や汚染、気候変動への対応など。



子どもの保護

すべての子どもが、暴力や搾取から守られるように

暴力の被害にあった子どもの保護、子ども兵士の解放や社会復帰、人身売買や児童労働を防ぐ取り組みなど。



子どもの生存と成長 (栄養・保健・HIV/エイズ)

すべての子どもが、命を守られ健やかに成長できるように
予防接種、保健センターの整備、保健員の養成や、発育観察、経口補水療法などの保健の知識を広めること、母乳育児、ビタミンAや微量栄養素の補給、栄養の知識を広めること、すべての子どもたちをHIV/エイズの脅威から守るための母子感染の予防、子ども・若者に対するエイズ予防・治療の普及など。



教育

すべての子どもが、教育を受けられるように
すべての子どもが学校に通えるように、教室や男女別のトイレなどの設備を整えること、教科書や学用品の提供、先生の研修、学校運営への地域の参加、就学前教育など。

～上記の分野に横断的にかかわる活動～

緊急支援・人道支援

自然災害や紛争といった緊急事態や人道危機が発生したとき、いち早く子どもたちを守るために、テントや毛布、医薬品など、必要な支援物資を迅速に届けられる体制を整えています。また「子どもにやさしい空間」や「学習センター」などを設置し、子どもたちが日常を取りもどし、安全に過ごせるように支援しています。

ジェンダーの平等

ユニセフは基本的人権の原則に基づいて、ジェンダーの平等を推進しています。各国における支援プログラムを通して、女性と女の子が、コミュニティの政治的、社会的、経済的な発展に参加できるよう支援しています。特に教育分野においては、男女に関わらず、すべての子どもが教育の機会を得られるように取り組んでいます。

ユニセフの支援基準

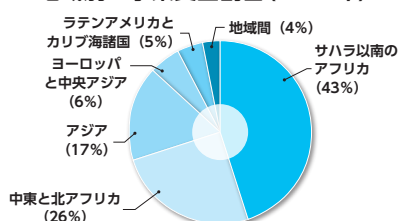
最も支援を必要としている子どもたちに支援が届けられるように、

- 1 5歳の誕生日をむかえるまでに命をうしなう子どもの割合
- 2 国民1人あたりの所得
- 3 子ども (18歳未満) の人口

この指標を重視して優先順位を判断し、各国・地域に予算を配分しています。

世界の5歳未満児死亡率 (2019年)

地域別の事業支出割合 (2020年)



※割合は四捨五入しているため、100%にならない場合があります。

出生1,000人あたりの死亡が



注:この地図は国や領土、国境の法的地位についてユニセフの立場を示すものではありません。

ユニセフの歴史

1945年	第二次世界大戦が終わり、国際連合(国連)が創設される(写真①)
1946年	第1回国連総会でUNICEF(当時の名称:国際連合国際児童緊急基金)を創設 戦争で被害を受けた子どもへの緊急支援をはじめ
1949年	日本の子どもへのユニセフの緊急支援がはじまる—学校給食での粉ミルクなど—
1953年	名称を「国際連合児童基金」と改め、活動を開発途上国の子どものための支援へ広げる
1955年	財団法人日本ユニセフ協会設立
1964年	日本へのユニセフの支援が終わる(15年間の援助総額 当時の金額で約65億円)
1965年	ユニセフ、ノーベル平和賞を受賞(写真②)
1989年	国連総会で「子どもの権利条約(児童の権利に関する条約)」を採択(写真③)
1990年	「子どものための世界サミット」開催 世界159カ国から代表が参加 子どもへの予防接種の普及率が80%に到達
1994年	「子どもの権利条約」を日本が批准する
2002年	「国連子ども特別総会」開催。21世紀の新たな子どものための目標を採択
2011年	内閣府の認定を受け、日本ユニセフ協会が財団法人から公益財団法人になる
2015年	国連持続可能な開発サミットにおいて、SDGsを含む「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択される(写真④)
2021年	ユニセフ創設75周年を迎える



©UNICEF



©UNICEF



©UNICEF



©UNICEF/UNI197042/Garten

SDGsとユニセフ

貧困、不平等、環境破壊…人類が直面する危機を乗り越えようと2015年に国連で採択された「SDGs(持続可能な開発目標)」。17個の目標が有名なSDGsですが、これは英語版で計35ページにわたる文書「我々の世界を変革する:持続可能な開発のための2030アジェンダ」の一部です。この文書の前文と宣言には、「**すべての人間の権利が守られ、地球を破壊から守り、豊かな暮らしを築き、平和を実現し、地球規模で協力し合う世界を目指す**」と明記され、世界は、全員参加で「**だれひとり、取り残さない**」社会を実現することを誓いました。



SDGsの実現のためには、今を生きる子どもたちがその権利を守られ、それぞれが生まれもった可能性を十分に伸ばして成長できることが欠かせません。ユニセフの活動(左ページ参照)も、SDGsの多くの目標と深く関わっています。ユニセフを通して世界の課題を学び、自分に何ができるかを考え、行動につなげていただければ幸いです。

子ども向けSDGs学習サイトがあります。ご活用ください。

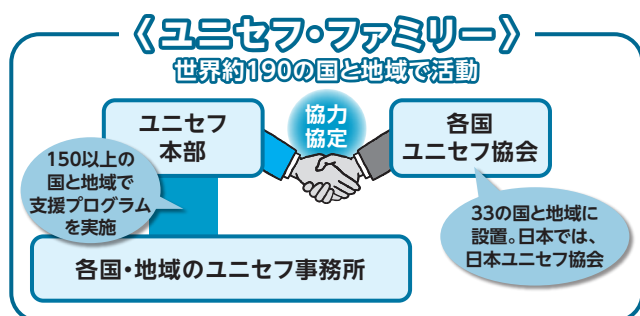


持続可能な世界への第一歩
SDGs CLUB

<https://www.unicef.or.jp/kodomo/sdgs/>

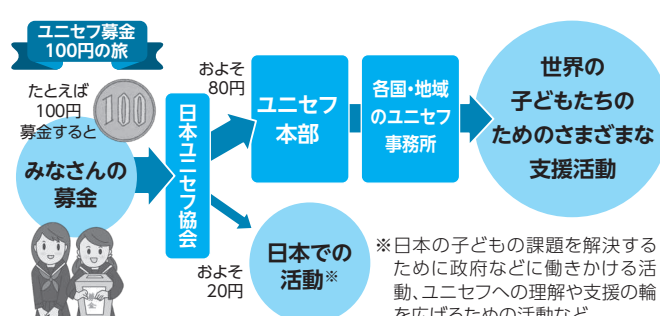
大きなユニセフ・ファミリー

ユニセフが支援活動をしている国や地域には、現地事務所や地域事務所があり、その国の政府と一緒に活動しています。一方、ユニセフの支援を卒業した日本などの先進工業国には、民間でユニセフを代表するユニセフ協会があり、ユニセフの活動を支える募金活動や広報活動などを担っています。こうして、現在、ユニセフは約190の国と地域において活動をしているのです。



日本ユニセフ協会の活動

日本ユニセフ協会は、個人のみなさん、団体や企業、自治体、報道機関や学校のみなさんから、ユニセフへの募金をおあずかりしてユニセフ本部へ届けています。また、ユニセフの活動や、世界の子どもたちの状況などについて日本国内でお伝えしたり、子どもの課題を解決するために政府などに働きかけたりしています。



※日本の子どもの課題を解決するために政府などに働きかける活動、ユニセフへの理解や支援の輪を広げるための活動など。

世界の子どもたちは、いま

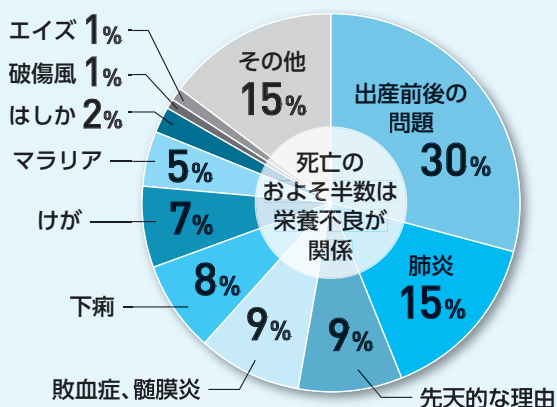
生まれた国や地域によって、さまざまな危機や困難に直面している子どもたちがいます。

数字で見る世界の子どもたち

✓ 5歳をむかえる前に命をうしなう子どもは年間**520万人***1

子どもたちが命をうしなう原因*2

(割合は四捨五入しているため、100%にならない場合があります。)



予防や治療ができる原因で多くの子どもたちが命をうしなっていることがわかります。

世界の5歳未満児の**22%**

✓ **1億4,920万人**の5歳未満の子どもが、栄養が足りず発育が阻害されている*3

✓ 児童労働を強いられている5~17歳の子どもは世界で**1億6,000万人***4



イエメン。鍛冶屋で働く12歳のアナス君。働く時間は一日11時間。学校には行っていない。
© UNICEF/UN0455064/Al-Quliah



これまで減少傾向にあり、2016年には1億5,200万人でしたが、新型コロナウイルスの影響を受け増加に転じました。

✓ 小学校就学年齢にもかかわらず小学校に通っていない子どもの数は世界で**5,900万人***5



フィジー。サイクロンで被災した学校の図書館で。自然災害や紛争によって多くの学校が破壊されています。
© UNICEF/UN0396379/Stephen/Infinity



新型コロナウイルスの感染拡大によって、一時最大15億人が休校の影響を受けました。

ウクライナ

政府管理下にある地域と親ロシア派が支配する地域を分断するコンタクト・ライン（接触線）沿いでは8年間にわたり不安定な治安情勢が続いていたが、2022年2月、首都キエフを含む複数地域で武力衝突が発生し、多くのインフラや教育施設に被害が出ている。



ウクライナ国境を越えてルーマニアへ避難しようとする家族。子ども5人を連れた母親は「どこにも行くあてがないけれど、爆撃が始まるのを待つことはできません」と話した。
© UNICEF/UN0597977/Elder

中央サヘル地域 (ブルキナファソ、マリ、ニジェール)

気候変動、情勢不安、避難生活、教育や保健などの基本的なサービスが足りていないこと、新型コロナウイルスの影響などにより、約1,360万人（うち760万人が子ども）が人道支援を必要としている。この危機は周辺の5カ国（トーゴ、ベナン、コートジボワール、ガーナ、ギニア）にも及んでいる。

ナイジェリア

北東部と北西部で約1,280万人（うち800万人が子ども）が紛争による影響を受けている。北東部での長らく紛争による深刻なレベルの食糧不安や栄養不良、北西部での武装グループへの反撃による状況悪化に加え、黄熱病、コレラ、マラリア等の感染症が発生している。



ベネズエラ ハイパーインフレ・政情不安・制裁措置・国外に逃れる人たち

✓ 池や川の水（地表水）を未処理のまま使わざるを得ない人は世界で**1億2,200万人***6



マダガスカル。ようやく降った雨の後、道路に溜まった水をくむ女性。干ばつが3年に及び、水不足や栄養不良が深刻な問題となっています。

© UNICEF/UN0406739/Andrianantenaina

*1 Levels and Trends in Child Mortality 2020 *2 Levels and Trends in Child Mortality 2019

*3 UNICEF-WHO-The World Bank Joint Child Malnutrition Estimates-2021 edition *4 Child Labour: Global estimates 2020, trends and the road forward

*5 UNESCO Fact Sheet no.56 September 2019 *6 Progress on household drinking water and sanitation and hygiene 2000 - 2020

危機下の子どもたち

地図で青くぬられている国は、人道支援のための資金を緊急に必要としている国です。

ここで取りあげている国・地域は報告書『子どもたちのための人道支援報告書 (Humanitarian Action for Children-HAC) 2022年』より抜粋

※ウクライナについては日本ユニセフ協会プレスリリース(2022年2月24日および26日発)より抜粋

欧州 保護を求めるたくさん の難民・移民

ミャンマー

民政への移管が進められていたミャンマーで、国軍によるクーデターが起き、国は未曾有の政治的・人道的危機に直面している。さらに新型コロナウイルスや、気候変動による自然災害の増加、貧困の拡大、公共サービスの崩壊などで、1,440万人(うち500万人が子ども)が人道支援を必要としている。

中東 長期化する紛争 (シリア国内、シリア難民、イエメン)

シリアでは、2011年の紛争の発生から11年が経過、今も終結せず戦闘が続いている。人道支援を必要とする子どもの数は2020年から2021年にかけて27%増加、610万人となっている。

また、2015年に内戦に陥ったイエメンは、依然として世界最悪の人道危機にあり、長引く武力紛争、広範な経済や国の制度、社会サービスの崩壊により、1,130万人の子どもを含む人口の70%が人道支援を必要としている。



理科の授業で先生の質問に答えるアフド君、12歳。学校は爆撃で破壊され、ユニセフが支援する仮設のテント教室に通っている。「今も学校に行くのは怖いけれど、夢を叶えるために勉強を続ける」。

© UNICEF/巻末DVD 「学校への爆撃、でも夢を追い続けるアフド君(イエメン)」 © UNICEF/UN0459566/Marish

東部アフリカ 長期化する人道危機 (ソマリア、南スーダン)

ソマリアでは子どもたちが適切な保護を受けられない状況が拡大しており、2022年には770万人(うち500万人が子ども)が人道支援を必要とすることが予想される。

南スーダンでは長引く紛争、社会のモロさ、教育や保健など基本的なサービスの不備が子どもたちの暮らしを脅している。2022年には830万人以上(うち子ども450万人)が基本的な生活のニーズを満たすための人道支援を必要とすると予想される。



紛争から逃れ、避難生活を送る母と娘。定期的にユニセフの保健センターを訪れ、栄養治療を受けている。

© UNICEF/UN0471308/Taxta

アフガニスタン

2021年夏の治安情勢の変化により、社会の不安定さが以前にもまして高まっている。2021年12月時点で2,440万人(うち子ども1,260万人)が人道支援を必要としている。児童婚や児童労働という手段に頼らざるを得なくなっている家庭も多く、学齢期の子ども420万人がすでに学校に通っていない。また、国民の10人に8人が安全な水を入手できない状況にあり、感染症や下痢性疾患の流行が保健サービスを圧迫している。食糧不足も深刻で110万人の子どもたちが重度の急性栄養不良で命を落とす危険にさらされている。



テントで避難生活を送る子どもたち。「子どもたちにパンも服も買うことができません」と子どもたちの父親、シャーさんは語る。仕事を見つけるためにここへ来たが、移動先でも状況は厳しく、今後への希望がもてないままである。© UNICEF/UN0574503/Bidel

エチオピア

北部で軍事衝突が発生して以来、広範囲にわたって戦闘が続いており、人道支援の必要性が高まっている。2,940万人以上(うち1,560万人が子ども)が緊急人道支援を必要としている。



双子を見守るメブラクさん。北部ティグライ州での爆撃が始まる中、二人を産んだ。その後、子どもたちを抱え、夜中に隣国スーダンへと逃れた。© UNICEF/UN0403276/Abdalkarim

マダガスカル

南部では気候変動で雨が降らず、干ばつが長引き、飢饉が起きている。150万人近くが食糧不足に陥っており、5歳未満の子どもも、50万人が急性栄養不良になると予測されている。



果実を分け合う子どもたち。冬・乾季にあたる7月頃、干ばつが農業に影響は特に深刻になる。

© UNICEF/UN0496488/Andrianantenaina

モザンビーク

人道危機が続くカボ・デルガド州では、85万6,000人近く(うち41万4,272人が子ども)が避難生活を送っている。同州では、36万3,000人が食料不安の危機にさらされているうえ、新型コロナウイルスの影響で、厳しい状況にあった人々の暮らしがさらに悪化している。



カボ・デルガド州の村で、井戸から水を汲む子どもたち。ここには紛争により家を失った人々を受け入れる仮設住居がある。© UNICEF/UN0437463/Mercado

ハイチ

自然災害、長引く政治・経済危機、ギャングによる治安の悪化、新型コロナウイルス感染症など、人々は複合的で絡み合う問題の影響を受けている。推定295万人が緊急の保健ケアを、79万7,000人の子どもたちが教育支援を必要としている。



崩壊した建物のがれきの上に座る子どもたち。2021年8月14日、マグニチュード7.2の地震が発生。120万人が被害を受けた。© UNICEF/UN0518510/Haro

「子どもの権利条約」を生かし

Child Rights Education (CRE) ～ 子どもの権利を大切にする教育 ～

子どもたちが一日の多くの時間を過ごし、学力だけでなく、身心の発達のためにも重要な役割を担う学校・園。ユニセフは、教育現場における子どもの権利の推進を目指し、世界各国で「Child Rights Education (CRE): 子どもの権利を大切にする教育」を提唱しています。

すべての子どもの基本的人権を国際的に保障するために、1989年に国連で採択された「子どもの権利条約」。日本はこの条約を1994年に批准しています。日本の子どもたちも「子どもの権利」の主体者です。

学校のユニセフ活動では、世界の子どもたちが直面する課題を学んだり、その子どもたちの権利を守るためにできることを考え、募金活動を実施したりしますが、その前提として、子どもも先生も「人権」や「子どもの権利」を理解し、人権尊重の態度を養うこと、また、権利が実現される環境や学びを共につくっていくことが、とても重要です。

子どもたちが自らの権利や人権に対する理解を深め、持続可能な社会の担い手として成長していくために、みなさんの学校でも、「子どもの権利条約」を生かした学級経営や学校・園づくりに取り組んでみませんか？



「子どもの権利条約」全文（政府訳）
https://www.unicef.or.jp/about_unicef/about_rig_all.html

「子どもの権利条約」日本ユニセフ協会抄訳
<https://www.unicef.or.jp/kodomo/kenri/syo1-8.html>

「子どもの権利条約」と4つの原則

「子どもの権利条約」では、18歳未満の児童（子ども）を権利をもつ主体と位置づけ、おとなと同様にひとりの人間としての人権を認めています。また同時に、おとなへと成長する過程において、子どもには年齢に応じた保護や配慮が必要な面もあるため、子どもならではの権利も定めています。

子どもの権利を尊重し実践していく上では、常に忘れてはならない「子どもの権利条約」の4つの原則があります。この4つの原則は、それぞれ「子どもの権利条約」の条文に書かれた権利であると同時に、条約で定められている他の権利を考えると同時に、常に合わせて考えることが大切です。

生命、生存および発達に対する権利 （命を守られ成長できること）

すべての子どもの命が守られ、もって生まれた能力を十分に伸ばして成長できるよう、医療、教育、生活への支援などを受けることが保障される。



子どもの意見の尊重 （意見を表明し参加できること）

子どもは自分に関係のある事柄について自由に意見を表すことができ、おとなはその意見を子どもの発達に応じて十分に考慮する。



子どもの最善の利益 （子どもにとって最もよいこと）

子どもに関することが決められ、行われる時は、「その子どもにとって最もよいことは何であるか」を第一に考える。



差別の禁止（差別のないこと）

すべての子どもは、子ども自身や親の人種や国籍、性、意見、障がい、経済状況などいかなる理由でも差別されず、条約の定めるすべての権利が保障される。



「子どもの権利条約」4つの原則

子どもの権利が守られる社会

国が条約を批准することは大きな一歩です。しかし、批准しただけでは子どもの権利が守られるようにはなりません。国の司法や行政だけでなく、先生方や保護者など子どもに関わるすべての人に、この条約に記された権利が実現されるように取り組むことが求められています。

日本の子どもたちの抱える問題としてよく取り上げられる、いじめや差別、自己肯定感の低さや無力感なども、子どもの権利に深く関わる問題です。「子どもの権利条約」の原則が守られ、子どもたちが安心して日々を過ごしながら健やかに成長し、その可能性や能力を十分に伸ばすことのできる社会。それがユニセフの提唱する、子どもの権利が守られる社会の姿です。

た学校・園づくり

子どもの権利を大切にする教育とは？

「Child Rights Education (CRE) : 子どもの権利を大切にする教育」は、学校・園での教育活動のあらゆる場において、子どもの権利を推進していくことを目指します。その取り組みは主に4つの側面で構成されています。

● 権利としての学び

すべての子どもに、あらゆる差別なく公平に教育を受ける権利があります。すべての子どもが質の高い義務教育を受けられること、またその後の成長過程においても学ぶ機会が与えられることが、保障されていなければなりません。

● 権利についての学び

学校での授業や活動を通して、人権や「子どもの権利条約」について学びます。子どもたちは自らの権利について知ると同時に、他の子どもたちにも同じ権利があることに気づき、多様性を認め、お互いを尊重しあう態度を身につけていきます。また、人権の学びを通しておとなにも権利があることを知り、おとなと子どもの相互の尊重にもつながります。

● 権利を通しての学び

学校・園のあらゆる面で「子どもの権利条約」の精神を尊重した環境を整えていきます。常に子どもの最善の利益が考慮されること。すべての子どもが差別や偏見、暴力から守られること。子どもの声に真剣に耳を傾けること。これらを実践していくことで、子どもたちは自らの権利と尊厳が守られた環境で学び、その可能性を伸ばしていくことができます。

● 権利のための学び

子どもたちが自らの権利について学び、権利が尊重された環境で学ぶことは、他者の権利にも目を向け、行動する学びへとつながります。地域社会や国際社会に目を向け活動することで、社会に貢献する力を培い、持続可能な社会の担い手としての成長につながります。

よりよい学校・園づくりのため、そして子どもたちの健やかな成長のために、下記、関連資料もご覧の上、ぜひこの「Child Rights Education (CRE) : 子どもの権利を大切にする教育」を取り入れてみてください。

CREの樹を育てよう

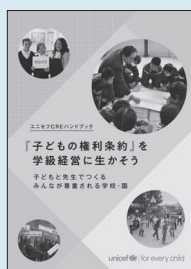


CRE関連資料の紹介

ユニセフCREハンドブック

「子どもの権利条約」を学級経営に生かそう

「子どもの権利条約」やCREについて、実践のヒントも交えて簡潔に紹介しています。



先生方向けCREウェブサイト OPEN!



www.unicef.or.jp/kodomo/cre/

「ユニセフCREハンドブック」の内容の他、学校・園で役立つCRE関連の情報を随時、更新していく予定です。ぜひ、ご活用ください。

学校やイベントで募金活動をする

ユニセフ募金は、世界の同じ世代の仲間たちのために、みなさんができる大切な活動のひとつです。募金活動を通じて、多くの人たちに世界の子どもたちが直面する課題を知ってもらったり、活動に共感してもらったりできれば、協力の輪が広がります。みなさんの取り組みは、世界を変える一歩になります！

校内・校外での募金活動

- ✓ 校内で活動する場合にも、**保護者や地域のみなさんにもご理解いただき、協力してもらえるような働きかけ**を考えてみましょう。
- ✓ 校外に出て一般の方々に協力を呼びかける**街頭募金活動**は、大きな協力を集められるだけでなく、多くの学びにつながる方法です。(➡P.11「街頭募金活動をする」)
- ✓ **募金箱や呼びかけポスター、ありがとうチラシなどの活動ツール**を工夫して作るとモチベーションが高まります。
- ✓ 『〇〇(支援物資)△個分の募金***円を目標に呼びかけよう』など、**目標を決めて取り組む**と、成果がわかりやすくなり、活動の振り返りや報告にも役立ちます。
- ✓ 運動会、学習発表会などの催事の際に活動することも効果的です。



Tip! ユニセフのDVD教材を活用して、校内募金活動をしました!

募金活動をする前に、5・6年生の代表委員会がユニセフや募金の意義を伝えるプレゼンテーション動画を制作し、各クラスに配信しました。初めての試みで右往左往したこともありましたが、ユニセフのDVD教材を活用し、募金活動にいたりしました。活動後に、6年生の数名が「将来、ユニセフのように、人の役に立てる職につきたい」と話していました。また来年もしてみたいと思います。(報告:関本和也教諭)

羽曳野市立古市小学校(大阪府)



バザー、フリーマーケットなど物販を通じて

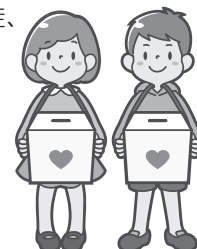
中古品や未使用品、地域の特産品、自分たちで育てた農産物や工夫して作ったものなどを売るバザーやフリーマーケットを開いてみましょう。売り上げをユニセフに寄付することを伝えながら活動します。募金箱を置いてみたり、学習の成果を展示したりしながら実施することも効果的です。外部からの訪問者が多い**文化祭・学園祭**は、こうした活動の絶好の機会になります。(右ページの「文化祭ユニセフセット」をご活用ください!)

リサイクル活動と連携して

缶やびん、ペットボトル、古新聞、ダンボール、牛乳パック、インクカートリッジなど、リサイクル事業者が対価を払って引き取ってくれる場合がありますので、売り上げを募金にすることができます。**書き損じはがきや未使用の切手**は郵便局で1枚5円の手数料で新しいはがきや切手に交換することができます。新しいはがきや切手を周囲の方や取扱店で買い取ってもらえれば、その代金を募金にすることができます。

PTA活動と連携して

PTAで行われているバザーやお楽しみ会等、さまざまな活動をユニセフ支援につなげてみませんか。募金活動の前に、家庭教育学級や親子教室、講演会でユニセフ教室(➡P.19「講師派遣・オンライン授業」)を開催するなど、児童・生徒、地域が一緒になって、世界の子どもたちの幸せや世界の課題に目を向けるきっかけにもなります。



文化祭ユニセフセット 申込用紙

文化祭・学園祭をユニセフ協力の機会に！

思いを伝え、協力を広げる絶好のチャンス！

文化祭・学園祭は、みなさんが学習したり、考えたりしてきたことを多くの人に伝えられる良い機会です。楽しい模擬店の活動も、売り上げが寄付となり世界の子どもたちの笑顔につながるとしたら、もっと多くの方と幅広い交流が生まれそうです。チャリティコンサートを開いたり、お芝居を披露したり、みなさんのさまざまな才能を生かして支援につなげることもできます。

今年の文化祭・学園祭をユニセフ色に彩って、世界の子どもたちとつながる機会にしてみませんか？

活動に取り組むみなさんを応援！！

文化祭ユニセフセットをご活用ください

文化祭・学園祭の機会にユニセフ募金活動をしてくださるみなさんに、使いやすいポスターや募金箱をセットにして、無料(資料実費・送料ともに)でご提供いたします。
※文化祭・学園祭以外でもお使いいただけます

文化祭ユニセフセット基本内容

- 募金呼びかけポスター 3種類 各1枚
- 募金箱(厚紙製・組み立て式) 2箱
- ポスターセット「ユニセフってなあに？」1セット
- 配布チラシ 100枚

ユニセフの活動や世界の子どもたちが直面する課題が10枚のポスターで描かれています。(詳しくは➡P.27)



学校 / 園名			
ご担当者名 (職)	()		
ご住所	〒 都・道 府・県		
電 話	()	FAX	()
Eメール			
活動日			
活動される方 主な活動予定内容			
ご要望等	※上記セット内容の資料の部数の変更や、追加の資料をご希望の場合は、こちらに資料名と希望部数をお書きください ※1週間ほどでお届けします		

街頭募金活動をする

校外に出て一般の方に募金の協力を呼びかける街頭募金活動には、多くの学びがあります。必要な手続きを取り、安全に配慮すれば、それほど難しい活動ではありません。ぜひ、ご検討ください。

※新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、安全に十分配慮してご検討ください。



自分たちは良いことをやっていると思って募金を呼びかけるのに、思ったように募金を入れてもらえなかったり、逆に地域の方があたたかい言葉をかけてくださったり。募金活動の主体となることで、活動を自分ごととしてとらえられる、自分の殻をやぶって人と関わることができる、社会のさまざまな人の考えを知る、といったさまざまな発見・経験がありました。

(街頭募金を経験された先生談)

街頭募金の進め方

- 1 「街頭募金実施計画書・申請依頼書」(右ページ)に記入し、FAXまたはメールでお送りください。
- 2 敷地利用申請など、活動の場所にに応じて、必要な申請を行います。

・駅で実施する場合

鉄道(駅)の敷地を使用する場合には、駅に「駅敷地使用許可申請」が必要です。

東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県・茨城県の鉄道においては、日本ユニセフ協会が書類のとりまとめ窓口となり、各鉄道会社に手続きをしています。手続きに時間がかかるため、右表の通り、**実施日の2カ月前までに1の依頼書をお送りください**。上記の都県以外の鉄道駅については、各学校から直接、駅にお問い合わせのうえ、ご申請をお願いいたします。

・公道の場合

駅前ロータリーなど公道を利用する場合には、学校から警察に「道路使用許可申請」を行ってください。

・店舗の場合

店舗内あるいは店舗の敷地内を利用したい場合には、各店舗の許可を得てください。

3 当協会から募金活動用のツールが届きます。

工夫して手作りした募金箱やポスターを加えると、みなさんのメッセージが伝わりやすくなります。



4 街頭募金活動当日

活動は、校長先生の許可のもと、各校の責任において実施してください。街頭募金活動は、児童・生徒のみなさんだけでは行わず、必ず先生または保護者の方と一緒に行ってください。通行を妨げない、点字ブロックの上で行わない、などにも注意してください。また学校名を名乗るなど、学校の活動として実施していることを伝えましょう。

実りある活動が安全に実施できるよう、みなさまのご協力をよろしくお願いいたします。

5 送金と報告

集まりました募金は、巻末の振込用紙を使用し、郵便局からご送金ください。

後日、掲示板や学校新聞、ホームページなどを通じて、ご協力くださったみなさまへ募金額の報告やお礼を伝えてみましょう。

また、We Support UNICEF賞(➡P.15)の申し込みなどを通じて、募金活動のようすや活動を通して感じたことなどを日本ユニセフ協会にもお知らせくださいますと幸いです。

募金活動月と申請締切	
1月	前年の11月15日必着
2月	前年の12月15日必着
3月	1月15日必着
4月	2月15日必着
5月	3月15日必着
6月	4月15日必着
7月	5月15日必着
8月	6月15日必着
9月	7月15日必着
10月	8月15日必着
11月	9月15日必着
12月	10月15日必着



いくらでどんなことができるかを具体的に伝えてみましょう。また、活動でどれくらいの支援を目標にするか決めて、みんなでその目標に向けて呼びかけてみましょう。

例

「あなたの100円が子どもたちをポリオから守るワクチン〇回分になります!」

「〇〇〇円の募金を集めて、世界の子どもたちに栄養治療食〇〇包を届けたいと思います!」

※支援物資を選んで募金ができる「ユニセフ支援ギフト」(➡P.14)もチェック!

<申請日 年 月 日>

街頭募金実施計画書・申請依頼書

街頭募金実施場所

☐ 駅敷地

※東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県、茨城県内の駅については日本ユニセフ協会ですべて申請します。

実施駅	実施日時	参加人数
線 駅 ☐	年 月 日 曜日 時 分 ~ 時 分	生徒： 名 同伴： 名
線 駅 ☐	年 月 日 曜日 時 分 ~ 時 分	生徒： 名 同伴： 名
線 駅 ☐	年 月 日 曜日 時 分 ~ 時 分	生徒： 名 同伴： 名

☐ その他の公道（駅周辺）・店舗（店舗名・所在地）・その他（公園等）実施予定地

実施場所	実施日時	参加人数
	年 月 日 曜日 時 分 ~ 時 分	生徒： 名 同伴： 名
	年 月 日 曜日 時 分 ~ 時 分	生徒： 名 同伴： 名
	年 月 日 曜日 時 分 ~ 時 分	生徒： 名 同伴： 名

☐ 公道で実施される予定で、警察署への「道路使用許可申請に伴う手数料の減免のお願い」が必要な場合はチェックを入れてください。

学校情報

学校 / 園名			
学校長 / 園長名	印		
ご担当者名（職）	（ ）		
ご住所	〒 ー 都・道 府・県		
Eメール			
電 話	（ ）	FAX	（ ）

資料請求

☐ 厚紙製募金箱 _____ 個 ※募金箱は手作りしていただいても構いません。☐ 振込用紙 _____ 枚☐ ポスター _____ 枚☐ 配布用チラシ _____ 枚☐ その他（ ）花やハーブの
種つき

配布用チラシ



※この用紙は日本ユニセフ協会が使用するものであり、駅等に直接申請をされる場合にはご利用になれません。

募金の種類

「通常募金(ユニセフ募金)」のほか、「緊急・復興募金」「支援ギフト」など、支援先を選べる募金も受け付けています。ユニセフ募金活動を計画する際には、どんな目的のために実施するかを考え、「世界の子どものために」「気候変動の影響を受けている子どもたちのために」など呼びかけの文言も合わせて考えてみましょう。

通常募金(ユニセフ募金)

世界の子どもたちのために！
ご協力をお願いします！



© UNICEF/UNI78184/Siddique

ユニセフに用途をお任せいただく募金です。150以上の国と地域の子どもたちのためにユニセフが行っている支援活動全般に大切に活用されます。

緊急・復興募金

紛争の影響を受けている
子どもたちのために！



災害や紛争などの非常事態下の子どもたちへの緊急・復興支援のための募金です。2022年3月現在、受け付けている緊急募金は「**ウクライナ緊急募金**」「**新型コロナウイルス緊急募金**」「**自然災害緊急募金**」「**シリア緊急募金**」「**アフリカ栄養危機緊急募金**」「**ロヒンギャ難民緊急募金**」「**人道危機緊急募金**」の7つですが、募金の性質上、終了することがございますので、活動前に必ず最新の情報をホームページでご確認ください。



ユニセフ緊急募金

「緊急支援情報」 www.unicef.or.jp/kinkyu/

※ご送金の際、振込用紙の通信欄に緊急募金名(「ウクライナ」「新型コロナ」など)をご記入ください。



© UNICEF/UN0264879/al Mussawir - Ramzi Haider

分野・地域指定募金

世界の子どもが
安全な水を使えるように！



特定の活動分野や地域を指定して支援する募金です。2022年3月現在、「**水と衛生募金**」を受け付けています。終了することがございますので、活動前に必ず最新の情報をホームページでご確認ください。



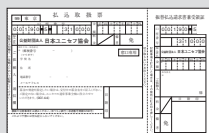
水と衛生募金

「マダガスカル水と衛生募金」 www.unicef.or.jp/about_unicef/water/

※ご送金の際、振込用紙の通信欄に指定募金名(「水と衛生」)をご記入ください。



© UNICEF/UN0263246/Ramasomanana



集まりました募金は本冊子に綴じ込みの振込用紙をご利用のうえ、郵便局からご送金ください。ゆうちょ銀行・郵便局に備え付けの振込用紙でもご送金いただけます。窓口扱いの場合のみ、手数料免除となります。記入方法については、P.31をご参照ください。(➡P.31「募金の送金方法」)

支援ギフト

緊急事態下でも使える生徒40人分の学用品が
入った「箱の中の学校」を届けるために！



カタログの中から、ワクチンや教育セット、栄養治療食などの支援物資を指定して募金をお寄せいただく方法です。(※国は指定できません)「ポリオワクチン〇〇人分の募金を集めよう!」など、より明確な目標を立てて募金活動を企画することができます。(※詳しくは右ページ参照)



箱の中の学校(スクール・イン・ア・ボックス)
© 日本ユニセフ協会

<申込日 年 月 日>

ユニセフ支援ギフト 申込用紙

世界の子どもたちに支援物資をプレゼント!

保健・栄養・水・教育・緊急など、さまざまな分野の支援物資をカタログから選んで支援することができます(右の二次元バーコード、URL参照)。募金活動を始める前に児童・生徒のみなさんとギフトを選んで、目標額を決めてから募金活動に取り組んでみませんか。



支援ギフトの
カタログを見てみよう!

www.unicef.or.jp/kodomo/kyoroku/ky_bod5.html



選ぶことのできる支援物資例

- 経口ポリオワクチン ……160 回分 **3,800 円**
- 浄水剤 …………… 1 万錠 **4,200 円**
- 栄養治療食 ……………150 包 **6,600 円**
- 箱の中の学校 ……1 セット 40 人分 **21,000 円**

©UNICEF/
UNI146341/
Ose



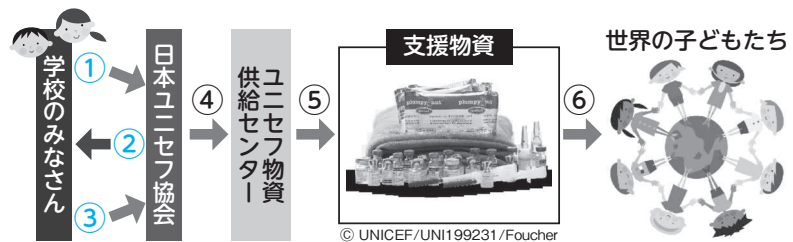
ユニセフ支援ギフト



※国・地域は指定できません。
 ※左に示した例の価格は2022年4月現在のものです。
 物資・価格は変わることがあります。
 ※支援ギフトは輸送費用も価格に含まれているため、同じ支援物資でも、その他の資料に掲載されているものと価格が異なります。

©UNICEF/UN0298242/

- ①募金活動終了後、この「ユニセフ支援ギフト申込用紙」を記入し、当協会にお送りください。
- ②金額が印字されたゆうちょ銀行の振込用紙をお届けします。
- ③届いた専用振込用紙を使って募金をご送金ください。



© UNICEF/UNI199231/Foucher

フリガナ			
学校名・園名			
ご住所	〒 ー 都 道 府 県		
電 話	()	FAX	()
Eメール	※「支援ギフト事業」の年次報告はEメールでお届けします。		
ご担当者名			

申し込む支援ギフト

ギフト名	セット数	合計金額
	セット	円
	セット	円
	セット	円

ギフト名	セット数	合計金額
	セット	円
	セット	円
	セット	円

★上記支援ギフトと合わせて、通常のユニセフ募金にご協力いただける場合は、その金額をお書きください。
 集まった募金から支援ギフトの価格を引いた端数をユニセフ募金としていただくことも可能です。

ユニセフ募金 円

We Support UNICEF賞

活動終了後には、ぜひ活動を振り返る機会をつくりましょう。

また、お世話になった方、募金にご協力くださった方に対して、報告とお礼をしましょう。

募金の送金方法はP.31をご参照ください。

- 活動して良かったこと、反省点、また、感じたこと、考えたことなどを、みんなで話し合いましょ。



- 学校新聞など広報誌や学校のホームページに、集まった募金額の報告や募金活動を実施しての感想などを掲載しましょ。



- お世話になった方にお手紙やお礼状を書きましょ。



- 活動の経験、反省や教訓などをまとめて、後輩に引き継げるようにしましょ。



We Support UNICEF賞をご活用ください

ユニセフ学校募金活動を実施したうえでお申し込みをいただいた学校・園にWe Support UNICEF賞をお贈りしています。お申し込みいただくと、賞状と記念のステッカー、ホームページ用のWe Support UNICEFバナーをお贈りいたします。一生懸命活動された児童や生徒のみなさんへのフィードバックにお役立ていただけましたら幸いです。



ステッカー



賞状

2022年度「We Support UNICEF賞」の贈呈について

- **募集期間：** 2022年4月1日～2023年3月31日（申込用紙記載日）
- **賞の対象：** 以下の条件に該当し、お申し込みをいただいた学校・園すべてにお贈りします。
 - ・ 児童や生徒が参加する形でユニセフ学校募金活動に取り組まれた学校。
 - ・ すべての校種（幼稚園・保育園を含む）が対象となります。
 - ・ PTAなど学校以外が活動主体となる形も可です。
 - ・ 学校全体、クラス、委員会、クラブなど、活動単位も問いません。
- **お贈りするもの：** 賞状、We Support UNICEFステッカー、We Support UNICEFバナー（ホームページ用）
- **お申し込み方法：** 右の申込用紙に必要事項を記入し、FAX、メールあるいは郵便にて以下へお送りください。受付・確認後、およそ1カ月程度でお送りいたします。

- **申し込み先** 日本ユニセフ協会 学校事業部
 (FAX) 03-5789-2034 (Eメール) se-jcu@unicef.or.jp
 (住所) 〒108-8607 東京都港区高輪4-6-12 ユニセフハウス

活動報告をお寄せください

賞のお申し込みと同時に、活動のようすや児童・生徒のみなさんの声、先生方の感想などを差し支えない範囲でぜひ、お知らせください。活動事例は、事前確認のうえ、当協会の媒体でご紹介させていただくことがあります。

We Support UNICEF 賞 申込用紙

学校 / 園名			
学校長 / 園長名			
ご担当者名 (職)	()		
賞状に記載する お宛名の希望	※記載のない場合は、学校・園名で発行いたします。		
ご住所	〒 ー 都・道 府・県		
電話	()	FAX	()
Eメール			

実施された活動について、差し支えない範囲でお知らせください。

活動された方		人 数	
活動日時 / 期間			
主な活動場所			
募金額	円 (送金日 年 月 日)		

活動内容について

概要や児童・生徒の皆さんの声・感想、先生の講評など、ぜひお聞かせください

--

写真や関連資料等ございましたら、こちらと合わせてメール等でお送りいただけますと幸いです。

お寄せいただいた活動事例を当協会媒体(ウェブサイト・資料等)にてご紹介しても構いませんか?(はい ・ いいえ)

We Support UNICEF賞ウェブサイトの「贈呈校一覧」に、学校(園)名を掲載してもよろしいですか?(はい ・ いいえ)

※贈呈校一覧の校(園)名から学校(園)ホームページをリンクすることができます。

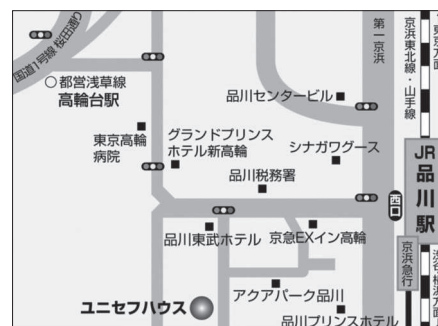
リンク先URLをご記入ください。(URL:)

ユニセフハウス展示見学

ユニセフハウスには、開発途上国の保健センターや学校を再現したスペース、緊急支援用の TENT などがあり、実際に現地で使用されている支援物資などを手に取ってみることができます。修学旅行や社会科見学などの機会にぜひご訪問ください。入館料およびガイドツアーは無料です。

！リニューアル工事のお知らせ！

2022年夏季はリニューアル工事のためユニセフハウスは閉館いたします。また、リニューアル後は展示内容、およびガイドツアー（実施時間枠を含め）などが大幅に変更となる可能性がございます。閉館時期やリニューアル後の見学のご案内など、詳細はウェブサイトで最新情報をご確認ください。



品川駅からユニセフハウスは徒歩7分

ユニセフハウス開館日時

月曜日～金曜日、第2・第4土曜日（祝祭日、年末年始を除く）10:00～17:00

※新型コロナウイルス感染症の感染状況、政府・自治体からの要請等によって、開館日時の変更をすることがあります。最新の情報はウェブサイトでご確認ください。



開発途上国の学校（再現）の展示

ガイドツアー予約について

ガイドツアー実施時間（1日4回、各回90分）

①10:00～11:30 ②11:30～13:00

③13:00～14:30 ④14:30～16:00

※16:00以降のご訪問についてはご相談ください

ガイドツアーの内容

- ・ビデオ視聴（約15分）
- ・展示スペースの見学と説明（約60分）
- ・質疑応答、アンケートなど（約15分）

ご予約方法

Step.1

お電話（03-5789-2014）でご希望の日時、人数をご連絡ください。予約状況を確認し、空いている場合は仮予約とさせていただきます。

Step.2

仮予約後、右ページの「ユニセフハウス訪問依頼書」をご記入のうえ、FAX（03-5789-2034）または郵送でお送りください。

Step.3

正式な予約手続き完了後、訪問確認書をお送りいたします。訪問確認書の貴校への到着をもって予約の確定となります。

※仮予約の前に依頼書をお送りいただきませんようお願いいたします。

※ご予約キャンセルと人数変更はなるべく早くご連絡ください。

※7月まで。9月以降についてはウェブサイトでご案内の予定です。

ご注意

- ・例年4～6月および10～11月は混み合います。早めのご予約をお願いいたします。
- ・駐車場はバス2台（車高3.5mまで）程度のスペースがありますが、予約はできません。バスでお越しの際は事前にご連絡ください。
- ・館内でお食事はできません。
- ・訪問時に募金をお持ちくださる際は事前にご連絡ください。当日お渡しできるお礼状をご用意いたします。
- ・新型コロナウイルス感染症対策のため、最大受入可能人数を30名に制限（2022年3月現在）しておりますが、状況によって受入可能人数が変わる場合がございます。
- ・展示スペースの写真撮影をすることはできますが、ビデオ撮影は原則ご遠慮いただいております。特別な事情がある場合には学校事業部までご相談ください。



ボランティアによるガイドツアー（無料・要予約）

新型コロナウイルスの感染状況がおさまるまで、ボランティアによる対面でのツアーは休止とさせていただきます。展示物の説明は、ご自身のスマートフォン等にて映像でご覧いただけるようになっています。タブレット端末の貸し出しも行っておりますので、ご予約時にお申し付けください。

展示スペースの様子や閉館の状況はウェブサイトからご確認いただけます。

ユニセフハウスで検索



こちらから訪問依頼書のダウンロードもできます。

ユニセフハウス訪問依頼書

下記の通り、ユニセフハウス見学を申し込みます。

申込日：_____年_____月_____日

学校／園名：_____

学校／園長名：_____ 印

ご担当者名（職）	()		
ご住所	〒 都・道 府・県		
電話	()	FAX	()
Eメール			

ユニセフハウス訪問依頼内容

日 時	年 月 日 () 時 分 ~ 時 分 ガイド時間枠 ① 10:00 ~ 11:30 ② 11:30 ~ 13:00 ③ 13:00 ~ 14:30 ④ 14:30 ~ 16:00 ※ 16:00 以降はご相談ください。		
訪問予定者	教員		名
※受入可能人数は日時によって変わります。	児童・生徒・学生 ※ () 年生		名
	その他		名
目 的	☐ 展示見学 ☐ 下見見学（実地踏査） ☐ 募金贈呈 ☐ 学習資料収集		
今後の取り組み	※今回の訪問を機に、学校・園でどのような活動、取り組みをお考えですか。また、訪問前に事前学習をされている場合はその内容をお知らせください。		
質問事項など	※後日送付される場合は、2週間前までに訪問日を明記の上 FAXまたはメールでお送りください。		
ユニセフハウスまでの交通手段	☐ 鉄道（JR 線・京浜急行・都営浅草線） ☐ バス（大型 台・中型 台）		

アンケート
これまで、貴校・園で当協会の講師派遣や資料、視聴覚ライブラリーを活用したことはありますか？
これまで、貴校・園でユニセフの募金活動に取り組んだことはありますか？

※本「訪問依頼書」を受領後に、周辺地図の入った「訪問確認書」を FAX/メールにてお送りいたします。

講師派遣・オンライン授業

ユニセフ学校募金などの活動をお考えの学校へ、当協会および全国26の道府県にある協定地域組織（地域にあるユニセフ協会）のスタッフ・ボランティアによる講師派遣を実施しております。総合的な学習の時間や、生徒会・児童会の特別活動、PTAの講演会、文化祭等のイベントにあわせて、世界の子どもたちやユニセフについての授業や講演会を企画してみませんか。

また、「児童会・生徒会メンバーなど少人数を対象にした活動前の事前学習が行いたい」、「質問に答えてもらいたい」、「近くに講師派遣をしてくれる協会がない」などの場合は、オンライン授業をご活用ください。

	講師派遣（ユニセフ教室・講演会）	オンライン授業
		
授業内容	世界のさまざまな子どもたちの現状やユニセフの支援について、映像や資料をまじえた授業を行っています。「紛争下の子ども」や「SDGs（持続可能な開発目標）」、「子どもの権利条約」など、特定のテーマの希望がある場合はその旨お伝えください。ユニセフと関連のあるテーマであれば、可能な範囲で対応いたします。また、水がめを使った水運びなど、体験学習も実施しております。	
授業時間	45～90分程度 (ご希望に合わせて柔軟に対応いたします)	基本1コマ(短時間也可)
人数	学年単位以上	少人数～全校
費用	・講師の交通費(往復) ・資料・使用する資材 (水がめや蚊帳など)の往復送料	無料 ※ただし、水がめや蚊帳などの資材、資料をご希望の場合は送料がかかります。
準備	パワーポイントを使用できるコンピューターやDVD再生機器、プロジェクター・スクリーン、マイク・スピーカー等	オンラインミーティングツール(Zoom、Google Meet、Microsoft Teams、Cisco Webexなど)が使用できるパソコン環境(カメラ・マイク含む)
申込方法	「講師派遣・オンライン授業依頼書」(右ページ)を授業実施希望日の1カ月前までにお送りください。依頼書の受領後、担当スタッフから授業の内容や使用機材、資料、費用等についてご連絡、ご相談申し上げます。 - お近くの協定地域組織(地域にあるユニセフ協会)に直接お問い合わせ・お申し込みいただいても構いません。(➡P.30「協定地域組織」)	
その他	- ご不明の点については、日本ユニセフ協会 学校事業部(TEL:03-5789-2014)までお問い合わせください。 - 近隣に協定地域組織がない県については、原則オンライン授業をお願いしております。 - 教職員対象の研修会(国際理解教育、人権教育、ESD、総合的な学習の時間、道徳、各教科の研修など)への講師派遣も、日本ユニセフ協会 学校事業部(TEL:03-5789-2014)までご相談ください。	

講師派遣・オンライン授業依頼書

下記の通り、どちらかに○
講師派遣・オンライン授業を申し込みます。

申込日：_____年_____月_____日

学校／園名：_____

学校／園長名：_____ 印

ご担当者名（職）	(_____)		
ご住所	〒 _____ 都・道 府・県		
電話	(_____)	FAX	(_____)
Eメール			

- 希望日時 ① _____年 _____月 _____日 (_____) 時 _____分 ～ _____時 _____分
② _____年 _____月 _____日 (_____) 時 _____分 ～ _____時 _____分
③ _____年 _____月 _____日 (_____) 時 _____分 ～ _____時 _____分

■ 対象者（学年・人数）： _____

■ 会 場： _____

■ 目的およびユニセフ教室後の活動（教育活動や教科の中での位置づけ）など：

■ 希望する内容：

■ 最寄駅から会場までの交通手段（オンライン授業ご希望の場合、Zoom、Google Meet など使用予定のアプリケーション、カメラの有無など）：

アンケート
1) 今回のご依頼のきっかけについて、当てはまるものに☑をしてください。 ☐ 「ユニセフ活動の手引き」(冊子)を見て ☐ 「ユニセフ活動の手引き」(Web)を見て ☐ 毎年依頼している ☐ 前任校でやっていた ☐ 同僚からの紹介 ☐ その他(_____)
2) これまで、貴校・園で当協会の講師派遣や資料、視聴覚ライブラリーを利用されたことはありますか？
3) これまで、貴校・園でユニセフの募金活動に取り組んだことはありますか？

ご確認のうえ、チェックをお願いします。

- ☐ 講師の交通費と授業で使用する資料の送料（往復）のご負担をお願いします。
- ☐ 希望日時は第3希望までご記入ください（原則、平日の9～17時）。ご希望の日時でお受けできない場合は、別途ご相談申し上げます。

「知る」「考える」ための方法とツール

日本ユニセフ協会では、先生方の日頃の授業にお役立ていただけるような、さまざまな資料、貸出教材、視聴覚教材を提供しております。ぜひご活用ください。

ユニセフ資料

右ページの「ユニセフ資料申込用紙」(FAX:03-5789-2034/Eメール:se-jcu@unicef.or.jp)、もしくは、当協会のウェブサイト(www.unicef.or.jp/library/library_act.html)よりお申込みください。資料到着まで1週間から10日程度の余裕をみていただけますと幸いです。

令和3年度より学校宛ての資料については、送料を無料(日本ユニセフ協会負担)といたしました。学校での募金活動やさまざまな学習に広く、当協会の資料をお役立てください。



ポスター

2022年度テーマポスター

52cm×73cm/無料

街頭募金活動やイベントなどに!学校向けウェブサイト「子どもと先生の広場」ではポスターに登場する子どもたちについてのお話を読むことができます。

ポスターセット ※貸出用のパネルセットもあります。→P.27
52cm×73cm/ポスター10種1セット/1セット 400円

「ユニセフってなあに?」(2018年4月 改訂版)

※「文化祭ユニセフセット」には無料で1セット入ります。→P.10
保健・水と衛生・栄養・教育・緊急支援・子どもの保護などテーマ別にユニセフの主な活動内容をわかりやすくまとめています。

「子どもたちにやさしい地球を残そう」

世界の子どもたちの置かれた厳しい状況を紹介し、子どもにやさしい地球を残すためにユニセフと一緒に考え行動することを呼びかけます。



(「ユニセフってなあに?」)

学習資料

子どもの権利条約カードブック(2021年8月増刷版)

B5/30ページ/1冊目無料(2冊目から60円)/小学校高学年～
「子どもの権利条約」1条～40条をやさしく抄訳したイラスト付のカードブック。切り離してカード状にするさまざまな使い方を工夫できます。カードの裏面には各条文の原文(政府公式訳)がついています。カードを活用したアクティビティ例も掲載。



ユニセフCREハンドブック『子どもの権利条約』を学級経営に生かそう～子どもと先生でつくる みんなが尊重される学校・園～

A4/14ページ/無料/教職員向け

ユニセフが各国で提唱する「Child Rights Education(CRE):子どもの権利を大切にすること」についてのハンドブックです。すべての子どもが等しくもっている「子どもの権利」。このハンドブックでは、「子どもの権利」を理解する上での大切なポイントについて、また、「子どもの権利」をどのように学校・園での教育活動に生かしているか、いくつかの実践例を含めて紹介しています。



絵本「ユニセフとえがおのひみつ」

A4/22ページ/1冊目無料(2冊目から140円)/幼児・小学校低学年向け
ユニセフの活動と世界の子どもたちの様子が分かる絵本型資料です。巻末には切りとってお使いいただける上腕計測メジャーがついています。



ちらし

子どもチラシ

A5/無料/小学校低学年～

本手引きとともに小・中学校には全校児童・生徒数分お送りしています。募金活動時の学習・呼びかけ資料としてご活用ください。折りたたむと募金袋になります。



ユニセフ手帳

A3二つ折り/無料/小学校低学年～

子どもチラシよりも詳しくユニセフの活動概要がわかります。切込みを入れて折りたたむと8ページの手帳型になります。



SDGs副教材

「私たちがつくる持続可能な世界～SDGsをナビにして～」

A4/巻三つ折り/無料/小学校高学年～

現在の地球上の課題を知り、考えとともに、自分にできることやみんなで協力したらできることなどを見出す。そうした学習活動にお役立て下さい。本教材専用のポータルサイトは調べ学習に最適です。指導用参考資料もあります。



壁新聞「ユニセフ学校通信」

73cm×52cm/無料/小学校～

秋のユニセフ資料として、毎年違ったテーマで全国の学校にお届けしている壁新聞です。2021年度:SDGsの「決意」と「めざす世界」/2020年度:新型コロナウイルスと世界の子どもたち/2019年度:子どもの権利条約30周年/2018年度:地図で見る世界の子どもたち

世界子供白書2019

A4/255ページ/1,100円/一般向け

世界の子どもたちの状況について毎年ユニセフが発行する白書。2019年のテーマは「子どもたちの食と栄養」。※2021年度版(テーマ:メンタルヘルス)の日本語サマリー版が春頃公開予定です。



絵本「ちきゅうからのしつもん」

A4/22ページ/1冊目無料(2冊目から60円)/幼稚園・保育園～

太陽・海・動物など自分たちの身近なところから地球のことを考える絵本です。

<申込日 年 月 日>

ユニセフ資料 申込用紙

■ 送付先情報

学校 / 園名			
ご担当者名 (職)	()		
ご住所	〒 ー 都・道 府・県		
電話	()	FAX	()
Eメール			

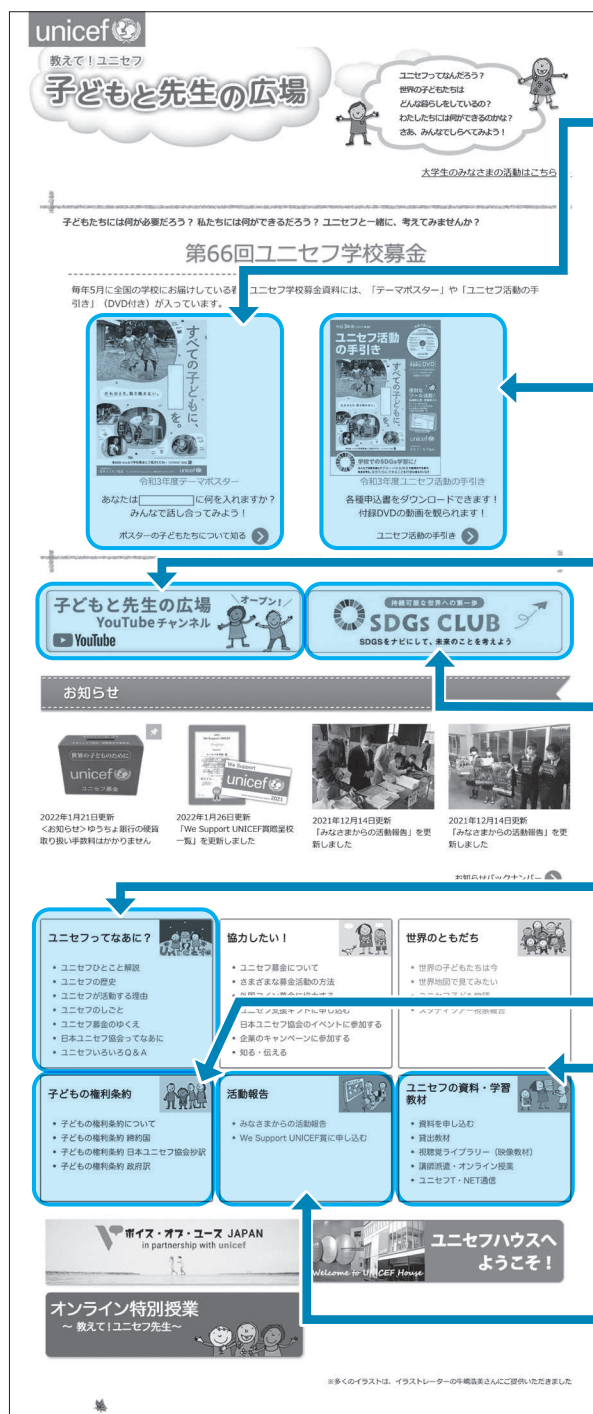
■ 希望資料

※希望するものに○をつけてください。これ以外の資料をご希望の方は下の空欄に希望資料名と数量をご記入ください。

希望	資料名	単価	希望数	資料代
	テーマポスター (年度)	無料	枚	
	子どもチラシ	無料	枚	
	ユニセフ手帳	無料	枚	
	ポスターセット 「ユニセフってなあに？」	10 枚 1 セット 400 円	セット	
	ポスターセット 「子どもたちにやさしい地球を残そう」	10 枚 1 セット 400 円	セット	
	子どもの権利条約カードブック	1 冊目無料 2 冊目から 60 円／冊	冊	
	ユニセフ CRE ハンドブック 『子どもの権利条約』を学級経営に生かそう ～子どもと先生でつくる みんなが尊重される学校・園～	無料	冊	
	SDGs 副教材 「私たちがつくる持続可能な世界」	無料	部	
	壁新聞「ユニセフ学校通信」 (年度)	無料	枚	
	世界子供白書 2019	1,100円／冊	冊	
	絵本「ユニセフとえがおのひみつ」	1 冊目無料 2 冊目から 140 円／冊	冊	
	絵本「ちきゅうからのしつもん」	1 冊目無料 2 冊目から 60 円／冊	冊	

※有料資料については、資料送付時に、資料代を記載した振込用紙を同封いたします。

「子どもと先生の広場」 www.unicef.or.jp/kodomo/



※2022年3月現在のイメージです

「子どもと先生の広場」でできることの例

○「ポスターを使って話し合ってみよう!」
テーマポスターに登場する子どもたちについて知ることができます。「すべての子どもに、□を。」の空欄に入る言葉を考える際の導入、ポスター紹介に便利。

○「ユニセフ活動の手引き」ダウンロード
「ユニセフってなあに」「世界の子どもたちは、いま」のページなどは、学習資料として印刷・配布に便利な見開きページでダウンロードすることもできます。

子どもと先生の広場YouTubeチャンネル

○「ユニセフDVD学習教材」収録動画のバックナンバー・ユニセフ視聴覚ライブラリーの動画の視聴

SDGs CLUBはここから!

○SDGs(持続可能な開発目標)について調べる
SDGs CLUB(www.unicef.or.jp/kodomo/sdgs/)

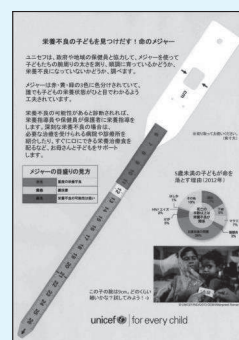
○ユニセフについての基本的な情報やよくある質問への回答・解説

○「子どもの権利条約」について学ぶ

○各種資料のお申し込み、資料PDFダウンロード

実寸大の「上腕計測メジャー」(右図)のダウンロードもできます!

○日本全国からのユニセフ活動の実践事例



各種SNSでも最新情報を発信しています!

一般向けの日本ユニセフ協会のホームページ(www.unicef.or.jp)からは、報道では目にしにくい世界の子どもに関するさまざまなニュースや、最新の報告書、データなどをチェックすることができます。YouTube公式チャンネルでは多くの映像を公開しているほか、各種SNSでも情報を発信しておりますので、ぜひフォローしてください。



Facebook



Twitter



YouTube



Instagram

ユニセフDVD学習教材

本冊子「ユニセフ活動の手引き」には、毎年さまざまな最新動画を収録したDVDが付属しています。道徳科や各教科の授業などで、ユニセフや世界の子どもたちについて知る機会にご活用いただけます。また、ユニセフ学校募金のお取り組み時に、全校集会やお昼の放送で映像を流す際などにもご活用ください。

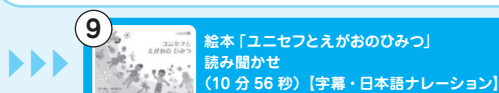


2022年度 ユニセフ DVD 学習教材の活用例

園児・小学校低学年



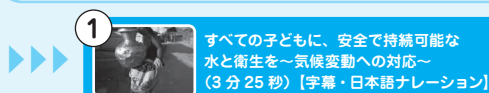
まだ会ったことはないけれど世界中にいるたくさんのともだち。今日は、世界のともだちについて勉強しよう。



小・中



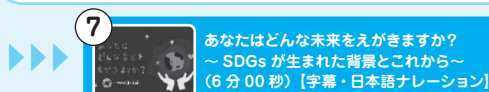
みなさん、こんにちは。児童会の〇〇です。来週からユニセフ募金活動が始まります。この機会に全校のみなさんにユニセフや世界の子どものことについて知ってほしいと思ったので、これから□日間にかけてユニセフの動画を放送していきます。



小・中・高



SDGsの17個の目標はよく知られるようになってきましたが、そもそもなぜSDGsができてきたのでしょうか？今日はSDGsが成立してきた背景や、SDGsが目指す世界とは何かについて、動画で学んでみましょう。



DVD収録動画の説明は、
→巻末「動画紹介」をご参照ください。

子どもと先生の広場 YouTubeチャンネルできました!!



子どもと先生の広場YouTubeチャンネルでは、ユニセフDVD学習教材(バックナンバー2018年～2021年に収録の動画を含む)や、ユニセフライブラリー(P.25-27)で貸し出している動画をご視聴いただけます。



YouTube 子どもと先生の広場 検索



ユニセフ視聴覚ライブラリーと貸出教材

日本ユニセフ協会では、DVDやパネル、ユニセフの支援物資などを教材として貸し出しています。
貸出機関はP29～P30に掲載しています。ご希望の教材を貸し出している最寄りの機関にご連絡ください。

※往復の送料は利用者にてご負担をお願いしています。

※万が一、破損された場合には速やかに貸し出し機関へご連絡ください。原則として補修費用のご負担をお願いいたします。

DVD・ビデオ（ユニセフ視聴覚ライブラリー）

各タイトルで使用されている数値や内容は制作年当時のものです。
YouTube からオンラインでも映像を見られるタイトルには二次元コードがついています。

幼：幼児以上 **小**：小学生以上 **中**：中学生以上



はじめてユニセフを学習するときに

ユニセフと地球のともだち 14分

小

保健、水、栄養、教育、保護、緊急支援の6つを柱としたユニセフの活動を、現地の子どもの声や映像で紹介。また、ユニセフの歴史や、日本へのユニセフの支援についても触れています。ユニセフと世界の子どもの現状について基礎から学ぶことができます。項目ごとに分けて見ることも可能です。(2016年改訂・字幕版・英語版あり)



「シュヌン・シュヌン」

(聞いてください) — 子どもたちからのメッセージ —

16分 **小** 中学年

「シュヌン」とはベンガル語で「聞いてください」という意味。南アジアのスラム街で「シュヌンシュヌン」と予防接種を呼びかけ、ポリオ撲滅のために活動する子どもたちなど、さまざまな境遇の子どもたちが登場します。栄養不良、難民、教育などのテーマに加え、子どもの参加や公平性の概念などのテーマも扱っています。(2014年制作)



ユニセフの歴史や活動についてテーマごとに学習をするときに

ユニセフの歴史 6分

小 高学年

ユニセフは、第二次世界大戦後、戦争で被害を受けた子どもへの支援のために創設されました。いまでは開発途上国で、保健、水と衛生、教育など、子どもたちの命と健全な成長を守る活動を行っています。その活動と歴史をわかりやすく紹介します。(2011年制作)



子どもの命と健康を守るために 6分

小 高学年

守ることができるはずの幼い命が今もうしなわれています。世界中のすべての子どもたちが、十分なケアを受け、健やかに成長できるように、ユニセフが各地で取り組んでいるさまざまな活動を紹介。 (2011年制作)



すべての子どもに教育を 6分

小 高学年

学校に通いたいのに通えない。貧しさや学校がないなどさまざまな理由で学校に通えない子どもたち。すべての子どもが教育を受けられるように、ユニセフが実施している活動を、子どもたちの声や笑顔とともに紹介します。(2011年制作)



HIV/エイズとのたたかい 6分

小 高学年

HIV/エイズによって厳しい状況におかれる多くの子どもたち。出生時に感染した子ども、親をエイズで亡くした子ども。こうした子どもたちを守ることも、ユニセフの活動のひとつです。HIV/エイズの予防、治療、教育、ケアに取り組むユニセフの活動を紹介。 (2011年制作)



子どもの保護と緊急支援 7分

小 高学年

多くの子どもたちが暴力や搾取、差別、虐待などの危険にさらされています。過酷な労働をさせられる子ども。紛争に巻き込まれる子ども。出生登録がないために「公式に存在」せず誕生日も知らない子ども。こうした現実やユニセフの緊急支援活動を紹介。 (2011年制作)



この世界に生きる子どもたち 16分

小 高学年

子どもの兵士、HIV/エイズなど、世界のさまざまな場所で厳しい現実と直面している子どもたちと、そうした子どもたちを守るユニセフの取り組みを紹介します。(2006年制作)



子どもたちこそ明日の世界 9分

小 高学年

1990年に開催された「子どものための世界サミット」。当時、1日に4万人もうしなわれていた幼い子どもの命をどう守るか、その方策が話し合われ、また、その実行が約束されました。将来の世界の主役である子どもたちに向けて制作された作品です。(1990年制作)



幼い子どもから学べる

なぜユニセフ募金なの 10分

幼

不自由な生活をしている私たち。でももし、電気、水道、病院、食べ物が無くなってしまったら？こうした基本的なニーズが満たされない厳しい生活があることを想像し、ユニセフへの協力を呼びかけるアニメーション作品です。(2010年画像修復版)



タムタムとビルの街 8分

幼

灰色の空の下で暮らすビルの街のともだちには青空を、乾いた砂漠に住むともだちには雨をプレゼント。世界の子子どもたちが互いを学びあい、平等な立場で助け合うことをテーマにしたアニメーション作品です。(1984年制作)



特定の国の状況について知る

ベトナム ディエンビエンの子どもたち 15分 小

急速な経済発展のイメージと裏腹に、特に山間部で暮らす少数民族の人びとはその流れから取り残され、厳しい暮らしを送っています。豊かさとは何か、公平性とは何かを、少数民族の女の子の生活を通して考えます。(2013年制作)



いのちの水 西アフリカ マリからの報告 13分 小 高学年

安全な水やトイレがないことが、多くの子どもたちの健康を脅かしています。世界の水や衛生の現状とともに、マリ共和国で村に井戸がつくられ、それによって変わっていく現地の人びとの生活を伝えています。開発途上国におけるユニセフの活動もよくわかる作品です。(2008年制作)



カンボジアの子どもと未来 14分 小 高学年

1998年に戦争が終わったカンボジアでは、特に農村部で、保健や安全な水が行き届かず、栄養不良が広がり、子どもたちの健やかな成長が脅かされています。こうした暮らしを改善してゆくためにユニセフが実施している教育や識字教育プロジェクトを紹介します。(2008年制作)



すべての人にきれいな水を 17分 小 高学年

ヒマラヤ山脈で知られる南アジアの国、ネパール。安全な飲料水の確保に苦労している人が多く、時間も労力もかかる水汲みは主に女性と子どもたちの仕事です。カルカ村、ハンディコーラ村、パルサ村を例に各地での給水と衛生の取り組みを紹介します。(1993年制作)



戦争・搾取・虐待…特に厳しい状況下の子どもたちを知る

子どもの権利を買わないで 22分 小 高学年

山村で暮らしていた女の子は、ある日村にやって来た男に連れられ、都会で働くことになります。そこでプンを待ち受けていたのは…。子どもの権利のもっとも深刻な侵害のひとつ「子どもの商業的搾取」の問題をわかりやすく紹介するアニメーション作品です。(2001年制作)



子どもと武力紛争 12分 中

現在も世界各地で武力紛争が続いています。子どもたちが兵士として使われ、身体と心に深い傷を負っています。こうした子どもたちの状況を伝え、子どもを紛争に巻き込まないためにできることを呼びかけています。(1999年制作)



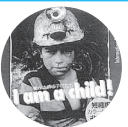
I DREAM OF PEACE (英語) 6分 中

戦争によって深い傷を負った子どもの心を癒すために、その体験や素直な感情を絵や詩に表現する心理療法があります。内戦の犠牲になった旧ユーゴスラビアの子どもたちが描いた絵を通して、子どもたちの抱える苦しみと夢を伝えます。(1994年制作)



I am a child 8分 中

多くの子どもが児童労働に従事しています。中には、心身の発達に害を与える危険な労働に強いられるために制作された啓発ビデオです。ケニア、タイ、ブラジルで働く子どもたちのようすを伝えるこの作品は、児童労働の撲滅に向けて強いメッセージを発信しています。※ダビング不可 (ILO制作、1996年)



子どもの権利 16分 中

1990年の「子どもの権利条約」発効後も、子どもの権利が侵害されている状況が続いています。児童労働や虐待で苦しむ子どもや戦時下の子どもたちの状況を伝えると同時に、「子どもの権利」の実現に向けて力を尽くすよう訴える作品です。(1992年制作)



ユニセフが現地での啓発のために開発したアニメーション作品

ミーナ にわとりなんわ 14分 幼

南アジア地域では、社会慣習により女性が悪化に置かれ、女子は教育の機会を奪われがちです。この地域で女子教育を広めるために制作された啓発ビデオです。お父さんの反対で学校に行けないミーナ。ペットのオウムを学校に行かせ、オウムから数の数え方を教えてもらいます。それをきっかけにして…(1996年制作)



ミーナ はんぶんこしよう 13分 幼

女性や女子がより重い労働負担を強いられることが多い南アジア地域。この地域で女性の状況改善を啓発するために制作された啓発ビデオです。弟と同じように学校に通えるようになったミーナ。ところが食事の量は弟より少なく、家の仕事は弟よりずっと大変です。ミーナと弟が家の仕事を交換してみたら…(1996年制作)



サラ すてきなおくりもの 16分 小

東南アフリカ地域で、女子への支援プログラムの一環で制作された啓発ビデオです。中学校に通うことを楽しみにしていたサラ、お金がないことを理由にもう学校に通わせられないと言われます。ある日、借りた本を読んでサラは素敵なことを思い浮かべます。(1997年制作)



日本の子どもたちが登場する作品

世界の12歳 17分 小 高学年

日本の14人の12歳の子どもたちが、バングラデシュ、ガーナ、クロアチア、オーストラリアの子どもたちを訪ねます。異文化に触れ、友情を深め、相手の国を理解してゆくドキュメンタリー。児童婚、労働、紛争などの世界の課題について考えます。※ダビング不可 (1998年制作)



だれが守るの地球 13分 小 高学年

1992年にリオデジャネイロで開かれた「国連環境会議」。子どもの代表スズキさんとサイードさんの発言を紹介します。また、ブラジル・ファベイラの生活改善、滋賀県栗東市立大宝小学校の環境授業、ケニアの植林の事例を通じて、子どもの参加を呼びかけています。(1993年制作)



世界子供白書シリーズ

世界子供白書2007

—女性と子ども—

17分

ビデオのみ

中

教育や仕事の機会など、ジェンダーによる差別は世界中で広く見られます。差別をなくし、女性の地位が向上することによってどのような変化がもたらされるのでしょうか?「子どもの権利」実現のカギをにぎる女性のエンパワーメントに焦点を当てて紹介しています。(2007年制作)



世界子供白書2008

—子どもの生存—

12分

ビデオのみ

中

子どもの保健分野では大きな前進が見られる一方、いまだ多くの命がうしなわれています。子どもの生存に関し、前進を加速させるためには、保健システムの強化が重要です。コミュニティを基盤とする保健ケアの取り組みを紹介しています。(2009年制作)



世界子供白書2009 —妊産婦と新生児の保健—

16分

中

多くの女性が妊娠や出産に関連して命をうしなっていますが、その危険は、先進国と開発途上国の間で数百倍以上の格差が存在しています。妊産婦の死亡につながる要因や母親と新生児を守るためのコミュニティでの取り組みを紹介しています。(2010年制作)



「ユニセフ活動の手引き」付属DVD

2018年度 ユニセフDVD学習教材

(7タイトル収録)

①片足を失った少女「将来は体操のコーチに」②長谷部誠 エチオピア「ワクチンの旅」③13歳アイシャの一日～水を得るために～④心の鼓動～シリアの子どもたちから世界へ歌のメッセージ～⑤100円の旅⑥世界に広めよう「持続可能な開発目標(SDGs)」⑦ユニセフと地球のともだち



2019年度 ユニセフDVD学習教材

(10タイトル収録)

①あなたにとって平和とは?～シリア 難民キャンプの子どもたちの声～②教育をあきらめたくない～ロヒンギャ難民のラシェド君～③子ども兵士から解放されたジョセフ君④IMAGINE(イマジン)ユニセフバージョン⑤思いがけないインタビュー⑥100円の旅⑦世界に広めよう「持続可能な開発目標(SDGs)」⑧ユニセフと地球のともだち⑨長谷部誠 日本ユニセフ協会大使から日本の子どもたちへのメッセージ⑩「ユニセフ公共CM」長谷部誠大使難民キャンプ編



2020年度 ユニセフDVD学習教材

(11タイトル収録)

①人道危機下で暮らす子どもたち②長谷部誠大使ロヒンギャ難民キャンプ訪問③南スーダン:栄養不良から回復したアデューちゃん④バングラデシュ:気候変動がうばったスマイヤちゃんの暮らしと健康⑤ブルンジ:すべての子どもに、安全な水を⑥私たちの可能性～ザータリ難民キャンプ・障がいのある子どもたちのお話～⑦100円の旅⑧世界に広めよう「持続可能な開発目標(SDGs)」⑨ユニセフと地球のともだち⑩子ども兵士だったぼく～人生を取りもどすために～⑪難民キャンプから始まった私の旅～教育の大切さを伝える～



2021年度 ユニセフDVD学習教材

(11タイトル収録)

①絵本「ユニセフとえがおのひみつ」読み聞かせ②【教育】故郷を離れたナビラちゃん、再び学校に(ブルキナファソ)③【栄養】パーチャル社会科見学!～栄養治療食が子どもたちに届くまで～(ニジェール)④【水】私がユニセフで働く理由からすべての子どもに、きれいな水を～(南スーダン)⑤【子どもの保護】児童婚をなくしたい～14歳で結婚したアビバの活動～(カメルーン)⑥【難民】シリア難民ボドゥールさんのお話(ヨルダン・アズラック難民キャンプ)⑦マングローブの守り人～子どもたちの植林活動～(パナマ)⑧子どもにも力がある～SDGs(持続可能な開発目標)とより良い世界を目指して～⑨ユニセフと地球のともだち⑩100円の旅⑪おどってみよう!「世界手洗いダンス」



パネル(ユニセフ視聴覚ライブラリー)

各テーマに沿って、写真と説明の入った10種類のポスターで1セットになっています。掲示用アルミフレーム枠のパネル(52cm×73cm)になっています。

ユニセフってなあに?

保健・水と衛生・栄養・教育・緊急支援・女性への支援などテーマ別に、ユニセフの主な活動内容をわかりやすくまとめて紹介しています。(2018年制作)



※上記の2タイトルは、ポスターセット(四つ折りで封筒に入ったもの)の提供が可能です。(→P.21「ユニセフ資料」)

子どもの参加が未来をつくる

子どもは年齢に応じて、社会とのつながりを広げていきます。社会への参加を通して、さまざまな体験をして、視野を広げ、自分がおとなに成長したときに果たす役割について学んでいきます。(2003年制作)

わたしも学校へ行きたい

世界には家事労働などで通学できない女の子が男の子よりも多くいます。その状況への理解と、いまだ解決を必要とされる諸問題に取り組む必要性を、子どもたちの視線から訴えています。(2004年制作)

子どもたちにやさしい地球を残そう

現在、子どもたちが置かれている厳しい状況を紹介するとともに、子どもたちにやさしい地球を残すために、ユニセフと一緒に考え、行動することをお呼びかけしています。(2013年制作)



ひとりひとりが大きな力

子どもの権利を脅かしている世界のさまざまな問題。よりよい未来のためにひとりひとりが力を発揮して問題に取り組もうと訴えます。(2002年制作)

守られているの?子どもの権利

「子どもの権利条約」でうたわれている権利と、基本的な権利を守られていない子どもの状況とユニセフの活動を紹介します。(2000年制作)

貸出教材

日本ユニセフ協会および全国の協定地域組織にて以下のアイテムを教材としてお貸し出ししています。

※協定地域組織ごとに貸し出し可能なアイテムが異なりますので、P.30のリストにてご確認ください

水がめ …水を運ぶ大変さを体験

ネパールで広く使われている日用品です。水道がない地域に暮らす人びとは、最寄りの水場からこの水がめを使って水をくんでいます。水源が遠い地域では、子どもたちが水くみに一日に何時間も費やし、学校へ行ったり、家で勉強したりする時間を犠牲にしていることもあります。



水がめ 豆知識



- 水を肩口まで入れると15kgほどの重さになります(およそ13リットルの水が入ります)
- 腰骨に乗せて持つことが多いようです。子どもたちは縄をつけて頭で支えながら背中に背負って歩くこともあります。頭にのせることもあるようですが、子どもはもっと小さな水がめを使います。(慣れない日本人にはいずれも大変難しく、けがをする恐れがありますので、水が入っている場合は持ち上げるだけにしましょう。)
- 真鍮製(5円玉と同じ素材)です。より軽いアルミ製の水がめもありますが、暑い時期にはすぐに水があたたまってしまうそうです。真鍮は重さはあるものの、断熱性が高く、水を冷たく保つことができるため、現在も重宝されているそうです。
- 衝撃を与えると割れたりひびが入ったりしますので、取り扱いにはご注意ください。

蚊帳 …マラリアを予防する蚊帳に日本企業の技術

幼い子どもの主な死因の一つにもなっているマラリアは、熱帯に生息するハマダラカという蚊が媒介する病気です。ハマダラカは夜行性。夜、蚊帳の中で眠るだけで大きな予防効果があります。ユニセフは支援物資としてマラリアの流行地域で蚊帳を普及しています。



蚊帳 豆知識



- 穴が開いたり、隙間があいたりすると予防効果がなくなるため、半年に一度程度、防虫成分のある薬剤に蚊帳を浸す処理が推奨されていましたが、その方法はなかなか普及せず、その結果、限定的な予防効果しか得られないという課題がありました。
- この課題に対し、繊維から防虫剤が徐々に染み出る技術を日本企業が開発、その技術を生かして薬剤処理をしなくても約3年にわたって効果が持続する蚊帳が開発されました。
- WHO(世界保健機関)もこの蚊帳(長期残効型蚊帳:long-lasting insecticidal nets)の効果を認め、使用を推奨しています。
- ユニセフは子どもの命を守る支援物資としてこの蚊帳を広く活用しています。(2022年1月現在、3張分の調達価格は639円)



©UNICEF/UNI109457/Pirozzi

地雷レプリカ …紛争が終わったあとも被害をもたらす

紛争が終わった後も、地雷は消えてなくなることはなく、そこにとどまって被害を与え続け、平和な復興を妨げます。被害者の中には多くの子どもたちが含まれ、手足を奪われたり、ひどい場合は命をうしなっています。ユニセフは、地雷や不発弾とはどんなものか、地雷などを見つけたらどう対処するのかなどを子どもたちに教える教育活動を支援しています。このキットは、その教育用に使われている教材をまとめたものです。対人地雷や不発弾の木製レプリカ、地雷教育に使われているポスターをセットにしています。また、紹介時に使用できるパワーポイントのデータも入っています。

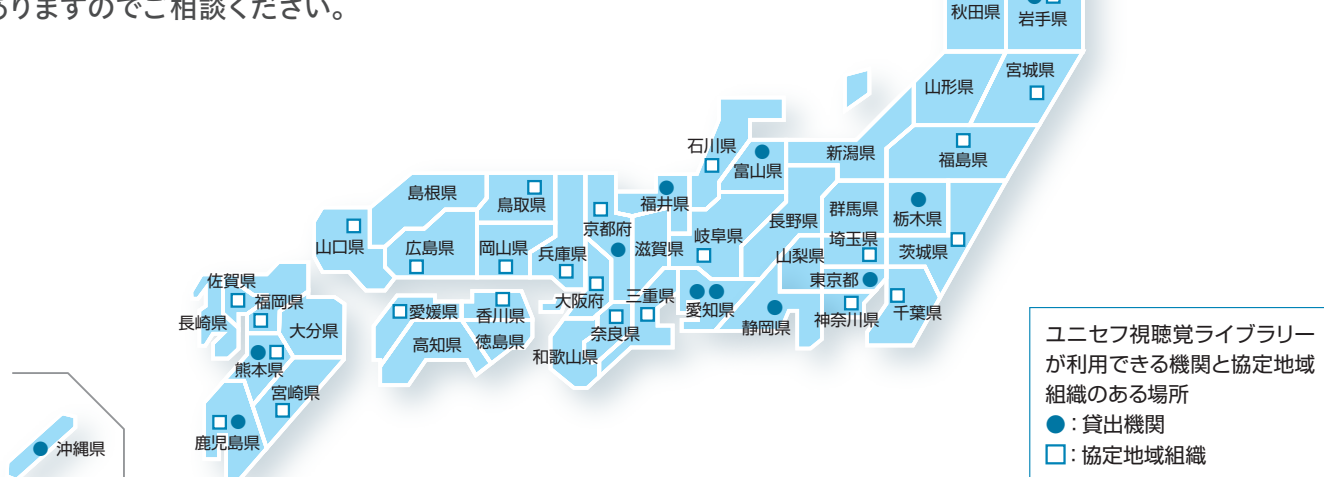




全国の貸出機関と協定地域組織

ユニセフ視聴覚ライブラリーは、以下の貸出機関および日本ユニセフ協会の協定地域組織でご利用いただけます。

協定地域組織では、学習会、講演会、写真展、募金活動などを実施し、学校への講師派遣も受け付けております。協定地域組織がない県でも、地域によっては近隣の協定地域組織からの訪問が可能な場合がありますのでご相談ください。



ユニセフ視聴覚ライブラリー
が利用できる機関と協定地域
組織のある場所
●：貸出機関
□：協定地域組織

ユニセフ視聴覚ライブラリー 貸出機関

DVD・ビデオ パネル

機 関 名	貸出アイテム	電話番号	受付日時	住 所
東日本を中心に全国へ貸し出し				
ユニセフライブラリー	DVD・ビデオ	03-5789-2014	9:00～17:00 ㊦ 土・日・祝	〒343-0851 越谷市七左町4-301 共同物流 ユニセフライブラリー係
原則、所在県府内対象に貸し出し(発送サービスあり)				
(公財)岩手県国際交流協会	DVDのみ	019-654-8900	9:00～20:00 ㊦ アイーナ休館日 12/29～1/3	〒020-0045 盛岡市盛岡駅西通1-7-1 いわて県民情報交流センター「アイーナ」5F 国際交流センター内
(公財)秋田県国際交流協会	DVD	018-893-5499	9:00～17:45 ㊦ 第1, 2, 4, 5 土・日・祝、 第3土曜日の翌月曜日	〒010-0001 秋田市中通2-3-8 アトリオン1F
(公財)栃木県国際交流協会	DVDのみ	028-621-0777	9:00～17:00(火～土) ㊦ 月・日・祝	〒320-0033 宇都宮市本町9-14 とちぎ国際交流センター内
(公財)静岡県国際交流協会	DVDのみ	054-202-3411	8:30～17:15 ㊦ 土・日・祝	〒422-8067 静岡市駿河区南町14-1 水の森ビル2F
(公財)名古屋国際センター ライブラリー	DVDのみ	052-581-0102	9:00～19:00(火～日) ㊦ 月/2月・8月の第2日曜日 ・12/29～1/3	〒450-0001 名古屋市中村区那古野1-47-1
(公財)豊田市国際交流協会	DVD	0565-33-5931	9:00～19:00(火～金) 9:00～17:00(土・日) ㊦ 月(豊田市とその周辺対象)	〒471-0034 豊田市小坂本町1-25 豊田産業文化センター3F
(公財)とやま国際センター	DVD	076-444-2500	9:00～17:45 ㊦ 土・日・祝	〒930-0856 富山市牛島新町5番5号 インテックビル4F
(公財)福井県国際交流協会	DVDのみ	0776-28-8800	9:00～18:00(第2月・水・金・土・日) 9:00～20:00(火・木) ㊦ 第2以外の月・祝	〒910-0004 福井市宝永3-1-1
日本国際連合協会 京都本部事務局	DVD	075-211-3911	10:00～17:00 ㊦ 土・日・祝 学校・団体・企業のみ貸し出し可	〒604-0862 京都市中京区烏丸通り夷川上ル 第7長谷ビル8F
熊本県教育庁義務教育課	DVDのみ	096-333-2705 (ダイヤルイン)	10:00～17:00 ㊦ 土・日・祝	〒862-8609 熊本市中央区水前寺6-18-1
(公財)鹿児島県国際交流協会	DVD・ビデオ	099-221-6620	9:00～17:00 ㊦ 月(祝日の場合火)	〒892-0816 鹿児島市山下町14-50 かごしま県民交流センター1F

機 関 名	貸出アイテム	電話番号	受付日時	住 所
沖縄県視聴覚ライブラリー	 ※ DVD のみ	098-864-0474	8:30～17:15 Ⓢ 土・日・祝	〒900-0029 那覇市旭町116-37 (沖縄県南部合同庁舎4F) 沖縄県教育庁生涯学習振興課生涯学習推進センター
訪問して利用することができます(発送サービスなし)				
神奈川県立地球市民かながわプラザ 情報フォーラム		045-896-2977	9:00～20:00(火～金) 9:00～17:00(土日祝) Ⓢ 月(祝日の場合開館) 県内在住・在勤・在学の方対象	〒247-0007 横浜市栄区小菅ヶ谷1-2-1 2F
(公財)大阪国際交流センター		06-6773-8989	平日 9:00～19:00 土・日・祝 9:00～17:30 Ⓢ 12/29～1/3・臨時休館日	〒543-0001 大阪市天王寺区上本町8-2-6

協定地域組織

 DVD・ビデオ  パネル  水がめ  地雷レプリカ  蚊帳

名 称	貸出アイテム	電話番号 FAX 番号	受付日時	住 所
北海道ユニセフ協会	    	011-671-5717 011-671-5758	月・火・木・金 10:00～16:00	〒063-8501 札幌市西区発寒11条5-10-1 コープさっぽろ本部2F
岩手県ユニセフ協会	   	019-687-4460 019-687-4491	月～金 10:00～15:00	〒020-0690 岩手県滝沢市土沢220-3 いわて生協本部2F
宮城県ユニセフ協会	    	022-218-5358 022-218-3663	月～金 10:00～16:00	〒981-3194 仙台市泉区八乙女4-2-2 みやぎ生協A棟3階
福島県ユニセフ協会	    	024-522-5566 024-522-2295	月～金 10:00～16:00	〒960-8105 福島市仲間町4-8 ラコパふくしま4F
茨城県ユニセフ協会	    	029-224-3020 029-224-1842	月～金 10:00～16:00	〒310-0022 水戸市梅香1-5-5 茨城県JA会館分館5F
埼玉県ユニセフ協会	    	048-823-3932 048-823-3978	月～金 10:30～16:30	〒336-0018 さいたま市南区南本町2-10-10 コープみらい コーププラザ浦和1F
千葉県ユニセフ協会	 	043-226-3171 043-226-3172	月～金 10:00～16:00	〒264-0029 千葉市若葉区桜木北2-26-30 コープみらい 千葉エリア桜木事務所 本館
神奈川県ユニセフ協会	   	045-334-8950 045-334-8951	月・水・金 ※祝日除く 10:00～17:00	〒231-0063 横浜市中区花咲町2-57 ミシナビル201
岐阜県ユニセフ協会	    	058-379-1781 058-379-1782	月・火・木・金 10:00～16:00	〒509-0197 各務原市鵜沼各務原町1-4-1 生活協同組合コープぎふ1F
石川県ユニセフ協会	   	076-255-7997 076-255-7185	月・火・水・金 10:00～15:00	〒920-0362 金沢市古府2-189 コープいしかわ古府センター2F
三重県ユニセフ協会	    	059-273-5722 059-273-5758	月・水・金 10:00～17:00	〒514-0009 津市羽所町379番地 コープみえ本部ビル1F
奈良県ユニセフ協会	    	0742-25-3005 0742-25-3008	月～木 11:00～16:00	〒630-8253 奈良市内侍原町6番地の1 奈良県林業会館2F
大阪ユニセフ協会	    	06-6645-5123 06-6645-5124	火～土 11:00～16:00	〒556-0017 大阪市浪速区湊町1-4-1 OCATビル2F
京都綾部ユニセフ協会	   	0773-40-2322 0773-45-4090	月～木 10:00～15:00	〒623-0021 綾部市本町2-14 あやべハートセンター内
兵庫県ユニセフ協会	    	078-435-1605 078-451-9830	月～金 10:00～16:00	〒658-0081 神戸市東灘区田中町5-3-18 コープこうべ生活文化センター4F
鳥取県ユニセフ協会	   	0858-71-0970 0858-71-0970	月・火・金 10:00～16:00、 水 10:00～12:00	〒680-1202 鳥取市河原町布袋597-1 鳥取県生協内
岡山ユニセフ協会※	   	086-227-1889 086-227-1889	月・火・木・金 10:00～15:00	〒700-0823 岡山市北区丸の内1-14-12 小野アルミビル2F
広島県ユニセフ協会	   	082-231-8855 082-231-8855	月～金 10:00～16:00	〒730-0802 広島市中区本川町2-6-11 第7ウエノヤビル5F
山口県ユニセフ協会	   	083-902-2266 083-928-5416	月～金 10:00～16:00	〒753-0083 山口市後河原210番地
香川県ユニセフ協会	    	087-813-0772 087-813-0772	月・火・金 10:00～16:00、 水 14:00～18:00	〒760-0023 高松市寿町1-4-3 高松中央通りビル3F
愛媛県ユニセフ協会	   	089-931-5369 089-931-5369	月～金 10:00～16:00	〒790-0003 松山市三番町5-13-10 リパップビル201号
久留米ユニセフ協会	   	0942-37-7121 0942-37-7139	月・水・金 9:00～16:00	〒830-0022 久留米市城南町15-5 久留米商工会館2F
佐賀県ユニセフ協会	    	0952-28-2077 0952-28-2077	月・火・木・金 10:00～15:00	〒840-0054 佐賀市水ヶ江4-2-2
熊本県ユニセフ協会	    	096-362-5757 096-362-5758	月・水・木・金 10:00～14:00	〒862-0949 熊本市中央区国府1丁目11-2 サンアイ水前寺ビル3F
宮崎県ユニセフ協会	   	0985-31-3808 0985-31-3808	月・火・木・金 11:00～16:00	〒880-0014 宮崎市鶴島2-9-6 みやぎきNPOハウス202号
鹿児島県ユニセフ協会	  	099-226-3492 099-226-3492	月～金 10:00～15:00、 水 10:00～12:00	〒892-0842 鹿児島市東千石町14-2 メガネのヨネザワ5F

新型コロナウイルス感染症の感染状況、政府・自治体からの要請等によって、受付日時を変更することがあります。また年末年始等、別途お休みが入ることがあります。
※貸出書籍もあり。貸出希望の方はお問い合わせください。

募金の送金方法

ユニセフ募金へのあたたかいご協力、誠にありがとうございます。集まりました募金は本冊子に綴じ込みの振込用紙をご利用のうえ、ゆうちょ銀行/郵便局の窓口からユニセフ募金口座(00190-5-31000)にご送金ください。郵便局に備え付けの用紙をご利用の場合も以下をご明記ください。代表の児童・生徒さんが郵便局に行き、自分たちの手で募金を送金するのも良い経験になるかもしれません。

※硬貨取扱料金を含め、送金に関わるすべての手数料が免除されます。

- ①金額欄に募金額をご記入ください。
- ②ご依頼人欄に以下をご記入ください。

- 郵便番号
- 学校・園名(領収書の宛名になります)
- 住所
- 電話番号
- メールアドレス

※領収書の送付先を指定する場合は、ご担当者のお名前を書いていただくと、その方宛に送付されます。

- ③通信欄で募金の種類を指定できます。

通常募金(ユニセフ募金)の場合は何も記載しなくて結構です。

募金の使途を指定したい場合は、受付中の募金名(ウクライナ、新型コロナ、シリア、自然災害、アフリカなど)を通信欄の余白にご記入ください。

払込取扱票	
99 東京	口座番号
001905	31000
金額欄	金 千 百 十 万 千 百 十 円
① <例>	12345
加算名	公益財団法人 日本ユニセフ協会
おとこ・おなま	<例> 108-8607
※(郵便番号)	(フリガナ) ユニセフショウガッコウ
学校名	ユニセフ小学校
住所	東京都港区高輪4-6-12
電話番号	03-5789-2014
メールアドレス	se-jcu@unicef.or.jp
募金の使途を指定したい場合は、受付中の募金名をご記入ください。	日 附 印
ご指定のない場合は、ユニセフの通常事業全般に役立てさせていただきます。(90147)	
裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行)(承認番号東第52596号)	
これより下部には何も記入しないでください。	

※受付中の緊急募金については、事前にホームページ上で必ずご確認くださいませよう、お願いいたします。

緊急支援情報: www.unicef.or.jp/kinkyu/

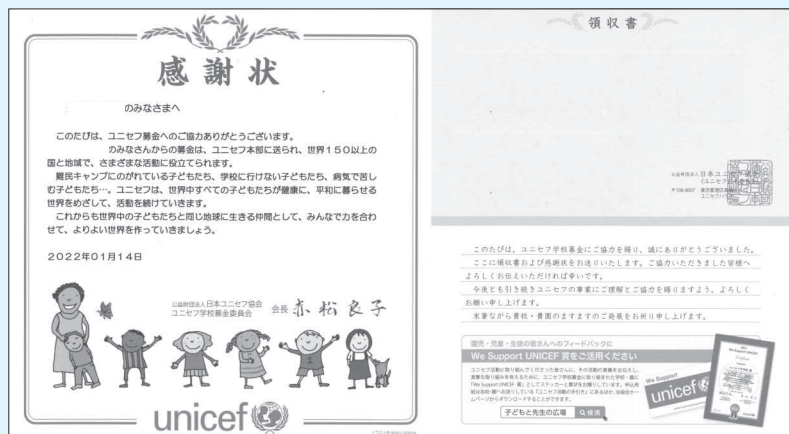
※支援ギフトの場合は、P.14の申込用紙でお申込みいただいた学校に専用の振込用紙をお送りします。

領収書と感謝状、「ありがとうポスター」をお送りします

募金の受領確認後、2週間程度で領収書および感謝状をお送りいたします。

また、A3サイズの「ありがとうポスター」も同封されますので、校内での掲示、全校集会等でのご報告にお役立ていただけますと幸いです。

※100円未満の募金の領収書発行はご容赦いただいております。領収書が必要な場合はお問い合わせください。また、10万円を超える募金など、複数回に分けて募金を振り込まれる場合に、合算した金額の領収書の発行をご希望の際は、お振り込みの前にお問い合わせいただけますと幸いです。(学校事業部:03-5789-2014)



※ポスターは昨年のもので、(今年のポスターはデザインが異なります。)

- 活動に参加された児童、生徒のみなさんへのフィードバックに「We Support UNICEF賞」もご活用ください。(⇒P.15)



1



すべての子どもに、安全で持続可能な水と衛生を～気候変動への対応～

(3分25秒) 字幕・日本語ナレーション

今、世界は水の危機に直面しています。人口増加や都市化、農業や産業の広がりによって、より多くの水が必要とされる中、気候変動がさらに事態を悪化させています。ユニセフは、気候変動による環境変化の中でも、すべての子どもとその家族が安全な水やトイレを使うことができることを目標に活動を続けています。ユニセフ活動の導入や、ユニセフ募金を呼びかけるための学習や集会などにオススメです。

2



学校への爆撃、でも夢を追い続けるアフメド君(イエメン)

(1分57秒) 字幕

2015年3月に内戦が激化し、長期間にわたって紛争が続くイエメンで避難生活を送るアフメド君(12歳)。爆撃で破壊された学校に通っています。「今も学校に行くことは怖いけど、自分の夢を叶えるために勉強を続けている」と話します。アフメド君の声を聞いてください。※アフメド君の写真は今年度のユニセフ学校募金テーマポスターにも掲載されています！

3



栄養不良から回復し、元気になったエリック君(グアテマラ)

(2分29秒) 字幕・日本語ナレーション

グアテマラでは、公共の保健システムだけではカバーできない遠隔地域における急性栄養不良の子どもたちの特定のため、ユニセフの移動栄養チームが活躍しています。エリック君も、そんな移動栄養チームのおかげで、治療を受けることができました。

4



シリア紛争10年～片足をうしなったサジャさんの夢、その後～

(4分35秒) 字幕

2011年3月に始まり、未だ終わりが見えないシリア紛争。紛争開始当時7歳だったサジャさんは18歳になりました。動画の前半は、12歳のサジャさんが語る紛争でうしなった大事なものと将来の夢について(2018年のDVD学習教材に収録の動画)、そして、動画後半では、2021年、18歳になったサジャさんが今の夢を語ってくれています。

5



バーチャル社会科見学!～ユニセフの支援物資倉庫を見てみよう～

(2分25秒) 字幕・日本語ナレーション

この動画は、カーラちゃん(6歳)が撮影しました。デンマークにある世界最大の人道支援物資倉庫「ユニセフ物資供給センター」を子どもの目線で見学してみましょう！

6



unicef × Fridays For Future～気候変動に挑むユースたち～

(7分41秒) 字幕

Fridays For Future(未来のための金曜日)は、2018年に当時15歳のグレタ・トゥーンベリさんが気候変動に対する行動の欠如への抗議活動を始めたのをきっかけに、世界中の、特に若者たちのあいだで広まった運動です。「気候変動の責任は私たち若い世代にはないけれど、気候変動からより深刻な影響を受けるのは私たちです(ターシン/バングラデシュ)」。気候変動の課題に立ち向かうユース(若者)たちの声を聞いてください。

7



あなたはどんな未来をえがきますか?～SDGsが生まれた背景とこれから～

(6分00秒) 字幕・日本語ナレーション

子ども向け学習サイト『SDGs CLUB』の「SDGsの前文・宣言」のページで公開している、パララックス(スクロールで動かすアニメーション)が素敵なナレーションのついた動画になりました! SDGsが生まれてきた背景やSDGsが目指す世界像について学ぶことができる動画です。

8



ユニセフと地球のともだち

(13分26秒) 字幕・日本語ナレーション

ユニセフと世界の子どもたちの現状について基礎から学ぶことのできる映像です。社会科の授業で国連やユニセフについて学習する際や、ユニセフ活動に取り組む前の学習にオススメです。

9



絵本「ユニセフとえがおのひみつ」読み聞かせ

(10分56秒) 字幕・日本語ナレーション

家に水道がなくて、毎日水を汲みに行くディアナちゃん、争いから逃れて難民になったモンズール君など、実在する子どもたちをモデルに、世界の子どもたちの現状やユニセフ募金がどのような支援につながっているのかを学べる絵本「ユニセフとえがおのひみつ」の読み聞かせです。

10



100円の旅

(1分56秒) 字幕

例えば100円の募金…その募金がどのように使われているのかを紹介するアニメーションです。募金活動の前や後に見ることで、ユニセフ募金について理解を深めることができます。

ユニセフDVD学習教材に収録の動画は、バックナンバーも含め、「子どもと先生の広場YouTubeチャンネル」からご視聴いただけます。

子どもと先生の広場
YouTube チャンネル



unicef

for every child



今年もWe Support UNICEF賞をお贈りします。
ぜひお申し込みください。詳細はP.15をご覧ください。

公益財団法人

日本ユニセフ協会

〒108-8607

東京都港区高輪 4-6-12 ユニセフハウス

☎ 03-5789-2014 📠 03-5789-2034

✉ se-jcu@unicef.or.jp

💻 www.unicef.or.jp

2022年4月 発行

